關大

発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敷民蔵
電話 06（388）1121代表
振替口座大阪55594番

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館 ぴっ
心斎橋店2階

メガネ大学堂
●京橋店 ●心斎橋店
●阪神百貨店 ●虹のまち店

52年度校友総会ご案内

校友のみなさまにはいよいよご健勝の御事とお慶び申し上げます。

さて、昭和52年度校友総会は、下記により開催いたします。年一回の校友の祭典に、ご家族ご同伴で多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

なお、本紙上をもちましてご通知に代えさせていただきます。

昭和五十二年九月
関西大学校友会
会長　樫本信雄

10月16日（日）
大阪都島・太閤園で

とき　十月十六日（日）午前十一時開場　十一時三十分開会

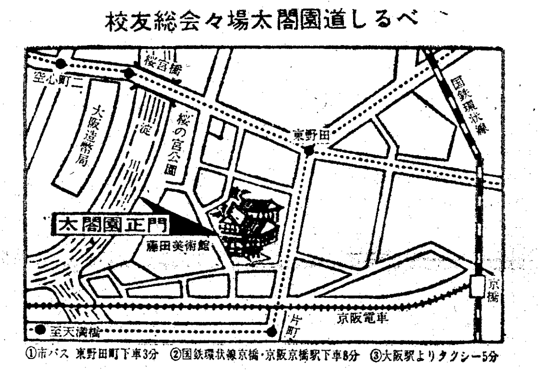
ところ　都島区網島町九―一〇
太閤園

総会
1部　総会行事
2部　懇親会
○母校現役学生賛助出演（奇術部・邦楽部・グリークラブ・応援団本部―吹奏楽部）
○桂三枝・サウンドフォー賛助出演
○福　引（豪華景品多数）

会費　三、〇〇〇円（同伴者も一名三、〇〇〇円）

◎準備の都合もありますので、参加希望者は、十月五日までに、会費を添えて校友会事務局あてお申し込み下さい。会員券をお送りいたします。

校友総会々場太閤園道しるべ



①市バス　東野田町下車3分　②国鉄環状線京橋・京阪京橋駅下車8分　③大阪駅よりタクシー5分

総会アトラクションは現役学生を主体に

毎年一度開催される校友総会は校友と大学関係者ならびに校友相互の親睦をはかる団らんの場として大きな意義のあるものであり、これまで太閤園を会場としたことは、この十年間に八回におよび、アトラクションも校友芸能人特に鶴田浩二の歌謡ショーはいつも喝采を博してきた。

本年の校友総会のアトラクションの基本構想について、八月三十日の正副会長部長会で検討の結果本学学生のクラブ活と動して、落語、奇術、邦楽、グリー、ブラスバンドなど社会的にも評判の高いものもある。そこで現在太閤園の会場と雰囲気にふさわしいものを選び、学生諸君の賛助出演を要請することになり、これが全面的な協力を得て、いよいよ実施することになった。

出演クラブは邦楽部、奇術部、グリークラブ、応援団・吹奏楽部の各部であり、現役学生の活気に満ちた舞台は、校友家族を楽しませてくれることであろう。

なお、テレビで活躍している落語大学OB桂三枝君はゲスト出演の予定。またグリークラブOBのコーラスグループ・サウンドフォーも賛助出演することになった。

また篤志寄付によって実施している福引は、豪華景品や当る率も高く好評であって、総会を賑やかに盛りあげる要因でもあり、本年も実施することになった。

現在、法人、個人の篤志寄付をお受けいたしておりますので、寄付金品のご寄贈は、十月八日までに校友会事務局あてお申し込みお願いいたします。

支部結成や再建へ
大阪北・高槻など準備進む

校友会組織部が昨年来継続している支部強化活動については、五月二十八日停滞支部との促進懇談会を開き、支部代表に協力を要請したのであるが、九月に入り支部の自主的な動きによって再建総会の名乗りがあがり、九月十七日に泉大津支部、十月六日に貝塚支部、十月七日には大阪北支部がそれぞれ十数年ぶりに懇談会・総会を開くことが決まった。

その他高槻支部でも周到な準備で総会計画をたてているほか、兵庫県淡路島、大阪鶴見でも支部新設の機運が生じ、関係者の間でその準備が進められている。

なかでも大阪北支部では、結成準備会の会合を何回か重ね、正式に立派な趣意書、加入申込書を作成、準備委員が校区別に手分けして会員の勧誘に走り、九月七日現在既に百二十余名の加入申込みを得ており、きめ細かい運動が一層大きな成果をあげた要因となっている。

今後総会までに二百余名を目途に加入申込者の倍増計画をたて、全力投球で打込んでいる。

一方高槻支部では、五月末ある篤志の校友の下で一名が専任で名簿整備にかかり、まず校友名簿に登録された住所を、市役所台帳と照合、居所を確認（その結果一六五六名を掌握）、ついで確認された校友を地域別（校区別）に逐一分類、その結果を名簿に編制し、校区別幹事を一三八名（ほぼ十名に一人の割）選び、九月七日付で一斉に委嘱状の発送を終えた。このあと諾否の結果をもって準備会を召集し結成総会を行う運びである。

その他府下における停滞支部、未組織地区についても、本部の組織部役員が手分けして組織化と取組んでおり、その成果が期待されている。

新聞発行協力金協賛者芳名
—⑤—

新聞発行協力金に対し、左記のとおりお申込みをいただきました。ここに芳名を録し、深甚の謝意を表します。（敬称略）

▽総計九百三十六万五千円也

阿部初男　青木洋二　赤松徳治郎　秋山博之　秋田保明　明田正文　芦田潔　芦谷俊一　東邦則　新子和郎　荒川洋一　荒木則千　有木博美　井上悦治　井上正臣　井尻昌一　井戸尉二　伊勢谷勝政　伊藤宣失　伊藤英昭　庵原一男　鋳方国亮　池尻要　池田稀信　池田義彦　石井芳雄　石河道明　石田隆信　石塚敏子　石本幸生　板谷博　稲嘗久　稲垣隆　猪西義広　今井憲夫　今沢義博　岩井治樹　岩沢匡祐　岩瀬汎克　岩田隆男　岩野秀樹　岩本隆雄　右近義一　上田侃司　上田孝　上田英和　上田実宏　上田豊　上野博　上野義雄　上谷幸彦　槙田満広　魚崎久男　内海利彦　江口誠二　江藤雄二郎　榎本昭　遠藤昌俊　小原静男　小原彰悟　小原尊光　尾白武志　尾崎伸子　逢坂民一　大岡雄二郎　大久保善重　大倉進　大先一成　大嶋不二男　大谷一郎　大月伸　大西修司　大西清三　大西正弘　大西政之　大野利男　大野矩雄　大橋悦子　大前都敬　大薮浩男　大薮博史　太田博幸　太田吉昭　岡弥太郎　岡田邦義　岡田秀夫　岡田秀雄　岡本徳　荻野信昭　奥井彰　奥野雅彦　奥村昭　奥村孝　加賀谷敬二　加来秀介　加藤常雄　加藤幹夫　加藤好一　加納要岳　加茂野虎雄　可児芳一　春日部博　貝栁清胤　海住幸松　覚正健嗣　梶谷哲夫　門口光男　金井俊一　兼田哲　鎌田利則　鎌田誠　神門明　神代長生　神谷明　神谷鎬　神谷幸男　亀元義雄　川上政司　川岸楠太郎　川端靖雄　川原重信　川南彰　川村文保　河合清彦　河合宏和　河口誠一　河崎安部男　河瀬一義　河野勝雄　河野俊　河本亨　菅正勝　木村修　木村統一　紀井昭三　喜多正弥　新先孝宏　北井正昭　北尾陽之介　北浦資生　北田和美　北田俊文　北畑由紀夫　北村幸雄　北山義利　絹巻博　清原博　九里哲司　久谷富晴　久保良治　公文敏雄　窪田義徳　熊井賢一　倉田寛　栗本守章　黒川清至　黒木征二　黒田義士　桑門雅明　桑原一之　小泉栄年　小梶延一　小坂正明　小坂美奈子　小坂井楠男　小島善昭　小谷三郎　小林昭人　小林和人　小林方範　小林脩一　小林泰三　小林益宏　小林芳造　小林幸夫　小松栄　後藤定子　後藤文雄　後藤光男　後藤米夫　上月景正　上月邦久　康城勲　河野明　近藤盛雄　紺田明道　佐伯明　佐伯憲三　佐々木盛夫　佐々木六三郎　佐藤敏夫　佐藤政隆　斉藤寛　斉藤幸夫　雑賀正彦　坂上敏一　坂上守男　坂本猛　坂本圀昭　阪田雅克　酒井正　斉藤泰　酒井理吉　先山順二　笹川政義　笹間吉昭　鮫島武次　沢井謙一　沢田和男　沢田隆　清水久彰　清水芳幸　塩川章　重歳雅司　信夫善治　柴田太市　柴山久嗣　島賢三　島井範男　島谷昌宏　示野三男　下中一郎　下村未治　上念一正　白井宏良　白沢勉　白瀬長茂　白谷裕　城下直之　神保信行　真城高紹　新谷昌生　須佐美八蔵　須田茂徳　末友良紀　菅野健司　杉浦武　杉多義男　杉山一朗　鋤柄明彦　勝信夫　鈴木晶　砂本成樹　住吉飛左夫　角谷勉　澄田孝彦　妹尾重人　関口宗三郎　千田良平　仙田良行　蘇建源　早田喜行　造田和美　外村新太郎　染谷稔　田口克之　田口忠彦　田積勉　田中修　田中要　田中邦明　田中邦雄　田中庸晴　田中純夫　田中隆治　田中信夫　田中勝　田辺栄二　多田仁志　大工二朗　高井正　高尾圭一　高木千代太　高木透　高島清　高島芳夫　高橋加泰　高橋正　高橋義昭　高森滋雄　高柳龍志　鷹取重信　宅間和子　武井啓司　武田雅宣　竹内宇宙　竹内忠徳　竹内千代　竹川幸宏　巽正司　立川登紀雄　立花守　楯川高明　谷口寿彦　谷沢潔　玉井克司　玉井秀雄　玉置隆夫　玉谷安啓　俵典次郎　千葉誠　茅野正光　近松正雄　津田良雄　塚田正則　辻井重治　辻浦敏彦　辻谷勝　辻本恵美子　辻本吉治　常岡省三　坪田良正　手嶋光裕　出口謙司　寺浦毅　寺岡正義　寺坂光正　寺西重治　寺部清毅　寺町太郎　寺脇より子　土井太門　戸井和夫　戸高栄作　都成教義　東条武治　東松泰久　徳永卓郎　利光邦雄　歳森康二　友国健一　友延隆司　虎谷健司　鳥本竜三　名倉智　内藤隆範　中井馨　中井喜弓恵　中井良和　中尾邦子　中尾隆洋　中尾敏雄　中川千歳　中島富一　中辻泰三　中橋久史　中村佳子　中村公一　中村武一郎　中村三津夫　中村光雄　中山善輝　仲野みつ代　長島潔　長田正臣　長手信人　長野洋　永井健太郎　永井駿一郎　永倉信子　永田隆信　永田規矩夫　永原博　柳楽喜祐　並川治郎　仁位泰次　西岡貞明　西上昌伸　西川専三　西田浩治　西田幸雄　西本克巳　西本俊一　西村利夫　西山三男　新田庫治　野沢元子　野垣保則　野口茂樹　野田稔雄　野名正弘　野中嘉員　野間豊　納田敏弘　能智孝昭　延原金雄　登尾真也　呑谷元治　長谷川実　迫間幸久　橋爪穣　橋爪博義　橋本修　橋本貢　橋本保正　八角和雄　服和知久　服部憲三　羽田修　羽原義明　浜名慶次郎　林清明　林茂子　林修三　林田道浩　原田一夫　原田恒夫　原田富夫　原田政夫　早川進　伴雅之　阪東良一　日置憲次　日笠光久　日和佐知津　東正実　東浦栄一　東口隆博　久武美和子　平岩新一　平尾庄三郎　平岡一高　平子征信　平田純一　平松隆夫　平安幸二　平芳市介　弘中洋一　不動健治　深本佳秀　福井一彦　福尾敏　福岡貢　福岡良雄　福住豊　福田寿之　福永勝　福村敏郎　福本敏男　藤井清一　藤井武　藤井幸男　藤田均　藤田まり子　藤田義人　藤野幸男　藤原健二郎　藤原忠　藤原豊久　藤原学　藤本孝三　藤本正　藤本徹　藤森恵次郎　二木幸治　筆谷正　船曳博彦　古川智　古沢良一　古谷弘明　古林正久　文野靖意　星野晴彦　星野彦三　細井三郎　細江賢一　細川修三　細野まどか　堀幸男　堀内祥悟　本条良範　本間敬悟　前田章男　前田静夫　前田敏一　前畑耕三　前原照美　前山保　牧野清光　増田則文　間島康夫　松尾隆　松尾和孝　松岡幾男　松田毅　松永隆行　松野精　松葉裕美　松橋賢司　松広屋勝市　松本治雄　松本恵司　松本公平　松本慎之　松本剛　松本直広　松本熙　松本裕和　丸山茂　三浦義一　三前洋　三品薫　三嶋彰　三藤重陽　三輪孝治　溝江忠　水谷章　水野恩　水本末行　道満進　光田方輔　皆木鉄夫　湊俊一郎　南林司郎　峰本勝義　蓑輪俊之　宮城耕造　宮崎重男　宮崎忠満　宮下義治　宮地清悟　宮部光平　村上幸次　村上剛　村上英徳　村松康作　村本すず子　目見田嗣明　木綿哲也　毛利正高　元永恵三　元山紀　本井鉄一　本園孝道　森寛紹　森瑞樹　森岡通　森岡幸男　森川利雄　森五郎田　森本健　森安貞仁　森山八郎　横田兼章　横浜裕二　横山和彦、

2面下段につづく

オス！ごきげんさん
—校友通信—

この欄は校友の皆さんの通信欄として活用していただくためにもうけたものです。手紙、電話等で編集部までご連絡ください。

朝日放送で関大聖書コレクション物語
木下　清（昭13大法）

関西大学史学会「史泉№48」での私の聖書和訳史研究報告を、国立国会図書館が同月報№174でとりあげ更めてこれを全国に紹介した。これらもあって昨年キリスト教史学会で研究奨励賞を受けた事は一OBに過ぎないレイマンである私への母校の諸師や皆様の指導と愛情のたまものと思います。

さて私は、朝日放送で四月より三ヵ月にわたって毎日曜朝五時三〇分より三〇分間連続番組として「関大聖書コレクション物語」を聖書翻訳の歴史やエピードを交えた内容で出演を続け、八月は夏休みとしましたが、九月より再開しばらく続けます。

本学図書館所蔵の聖書が、古今東西のものを集収して本邦における屈指の価値高いコレクションとして注目されはじめてまいりましたことをお伝えして、その喜びを共にしたいとお便りいたしました。

日本合成化学法務嘱託（自宅）
豊中市熊野町一―十二―十三

白寿の誕生迎えご挨拶
門屋直寛（明34関法）

老生儀　八月十日をもって満九十九歳の誕生日を迎えました。古例に従えばいわゆる、白寿の賀筵を催すべきはずのところ、現在の健康上不可能にちかいので遺憾ながら思い止りました。

思えば自分の今日あるは、神意によることは申すに及ばず、社会の恩沢や校友の皆様のご愛顧によることと深く感銘しております。

親しく拝顔の上お礼申し上ぐべきはずのところ、紙上をもってご挨拶に代えさせて頂き、且つ平素のご無沙汰のお詫びといたします。

（明治十一年八月十日生）

関東尚志会の近況報告
川辺鹿之進（昭4大商）

関東尚志会は、大阪での尚志会（昭4千里山卒のクラス会・代表者山田清太郎君）の関東地方の分身にて、東京・神奈川・埼玉にわかれ居住し、メンバーは、弁護士加藤外次、入江治助（糸屋の元社長）、泉清（医歯学出版、元総務部長）など十名位で、世話役は、吉松須賀根（大東京火災）と私です。

私は奉仕の経営コンサルタント・カウンセラーと社団法人日本経営士会東京本部地区支会運営委員を兼ね、健闘しております。

武蔵野市境三ノ六ノ一八　電〇四二二―五二―二八七九

★校友同窓の連絡を
三輪俊之（昭23専二商）

私たちは、昭和十九年に一部入学、まもなく住友電線に勤労動員一部より二部に転部、当時専門部経営科といっていました。当時の問題意識から、講義中によく質問し、中村先生から怒鳴られたり、高木先生の情熱的な講義に感動したり、統制経済以前の経済原論について、時々絶句しながら講義して下さった故森川先生のことなど急に思い出したりして懐かしく思います。

当時のクラスメートたちは、どうしているかと、ふと二、三の顔を思い浮べます。

吹田市垂水町二ノ七ノ五　電三八七―〇〇二三　茨木市駅前成徳学苑　電二六―五五七六

榊原　誠（昭49学一史）

東京、神奈川方面における関大卒業生でつくっている会があれば詳しく教えていただきたく思っています。

横浜市戸塚区中田町一〇二五茜荘六号　電〇四五―八〇三一八一〇〇　名鉄観光サービス㈱　電〇三―五五三―一〇三一

★教育記録を自費出版
足立郁夫（昭32学二英）

小・中学校教師生活二十年を記念して、教育実践記録（全四冊頒価送料共で千五百六十円）を自費出版しました。新聞、雑誌に掲載されたのを収録したもので、家庭教育などの面からも好評を得ています。小・中学生をお持ちの校友諸兄にご一読いただければ幸甚に存じます。分売もいたします。詳しくは左記にお問い合わせください。

〒550大阪市西区九条二丁目八一七　足立電気商会　電〇六―五八二―三九四七　振替（大阪）二六一七一

★どうぞご利用下さい
住井宗樹（昭48学工管）

斑尾高原でペンションを始めました。夏は、サイクリング、テニス、野尻湖及び避暑（標高一、〇〇〇㍍）冬は十二月始め〜四月中旬がスキーです。

長野県飯山市外斑尾高原、むね樹ペンション　電〇二六九六―二―五四五七

★新聞〝関大〟への提言
丹山清英（昭29学二経）

いつも新鮮なニュースを届けていただいて喜んでおります。欲をいえば、もっと二部を卒業した人たちの活動ぶりや、近況をご紹介していただけたら……と、われわれ二部卒業生が集まると話に出ています。ご配慮いただければ幸いと存じます。

八尾市中田五―一二一・電〇七二九―九一―三一〇五　東大阪市立長栄中学教諭

★大いにガンバッています
村田善明（昭38学二法）

今年度、大阪弁護士会広報委員会の編集担当副委員長として会報月報の編集を担当しています。

人権擁護、公害対策、消費者保護、非弁護士活動告発など、弁護士会が市民のため続けている多角的な活動に対する校友諸兄のご意見、ご要望を寄稿していただければと存じます。

大阪市南区順慶町通四ノ四三、第一飯沼ビル三階、三〇三号室　電話二四五―五一八六五、弁護士

★新聞〝関大〟への提言
倉田　寛（昭38学工金）

年一回の校友総会に、キャンペーン（バザー形式）のようなものを開催して、少しでもその利益を新聞発行費に充てるような企画を考えたらいかがでしょうか。（総会だけではなく、日常においても、新聞発行を目的とした、催しもの、販売セール等の企画等も考えたらどうでしょうか）

京都市北区小山西大野町三五　電〇七五―四九一―六〇五〇　日本電池㈱自動車電池工場

福原　駿（昭43学一商）

〝新聞関大〟にもっと運動部（体育会）の動き（成績や、順位や、有名選手の紹介）をのせて下さい。

岸和田市三田町一八六　電〇七二四―四五―五五二四　日本自動車連盟関西本部勤務

喜多成典（昭49学一経）

新聞〝関大〟が届くたびに、大学生活がなつかしく思い出され、卒業しても関大とのつながりがとぎれず、この上なく嬉しく思っております。

さて〝関大〟に、「学内スケッチ」（写真つき）と題して、ほんの小さなことでも結構ですから、掲載してほしいと思います。

奈良県香芝町高九四　電〇七四五七―七―二三七八　靴下製造業

伊藤敏幸（昭50学一哲）

卒業して三年もたつというのに完全に学生気分がぬけきらず、社会人としてまだ半人前の立場にある私です。定期的とはいっても、私には突然届けられる新聞〝関大〟。それを手にとるにつけ、さきの「三年」「半人前」という言葉が脳裏をかすめます。また一方、走馬灯のように、学生時代のこと、特にクラブ活動のことを思い出します。

〝関大〟は私のよきカンフル剤です。いつまでも続けて下さい。

県立富山高校非常勤講師

★結婚しました
藤沢能里子（昭49学二経）（旧姓中山）

私は昨年十月に結婚して、姓と住所が変わりました。遅まきながらお知らせします。

新住所―東京都板橋区板橋三ノ二ノ八　電〇三―九六三―一八九六二

藤田公司（昭49学一社）

五十二年四月二十九日結婚し、住所が変わりました。新聞の内容ですが、クラブ活動をもっとくわしくのせて下さい。

大阪市住之江区粉浜西三ノ一ノ七ノ三〇五　電六七三―三一八九　近畿工業㈱勤務

いますぐ振替送金を
—新聞発行協力金中間報告—
早くも二千七百名が拠金

機関紙「関大」は、昭和四十八年秋のオイルショック以来の諸費高騰に加えて、昨年一月に郵便料金の大幅値上げ実施というダブルパンチを受け、予期せぬ事態に深刻な資金難を来している。

そのため終身会費を古い時期に払込みされた校友を対象に「新聞発行協力金「金五千円也」の協賛を求めている。

「新聞発行協力金」は去る三月二十六日の代議員会の承認にもとづくもので、新年度を迎えて直ちに五月には代議員各位にその協力を要請したのを皮切りに、六月には過去三千円、五千円の終身会費の払込校友三四、四一四名の校友に封書で協力を要請し同じく「関大」紙六月号には一斉に振替用紙の折込を行った。

その結果払込のあった校友は、「関大」紙五月号以降毎号に「協賛者芳名」を掲載（九月号現在で八月五日扱い分まで登載、登載者数一八六四名）している。

事務局の集計では九月七日現在早くも二六七一名の払込数に達しており、現在八〇七名が未登載となっている。

払込者の層は、明治期関西法律学校に学び本年九十七歳を迎える藤原喜一翁といった校友を筆頭に五十二年三月の若手卒業生まで明治、大正、昭和三代にまたがり、中には親子あり、兄弟あり、夫婦あり、一方遠くは韓国同窓会、在米校友など海外からと、多方面から浄財が寄せられ関係者の感動を呼んでいる。

本紙が創刊されて二十数年、他大学に類を見ない同窓会紙として毎月発行し今回に至っているが、今後とも校友の変らぬ愛情に育くまれて、将来にわたって欠かさず発行できるよう、ひとりでも多くの校友の温い協力が望まれている。

ご一報あり次第振替用紙を郵送いたします。

〒564吹田市山手町三―三―三五
関西大学校友会事務局（TEL〇六―三八八―一一二一内線五七一〜五）振替口座大阪五五五九四番

葦の栗

来春から校友会の会員となる卒業予定者にとって十月は、いよいよ社会への関門、就職戦線の幕あけである▼この春の卒業生は、文科系で九八・三％、工学部もあわせた全体の就職率は九七％、不況の中でも〝さすがは関大〟の好成績だったそうだが、果たしてこんどはどうだろうか。低成長へ軌道修正している産業界は、これまでのようには大学出を受け容れられない現状だけに、就職問題はますます深刻になりそうだ▼「大学さえ出ておけば」から「一流の大学でなければ」と、進学競争は〝十八歳のある一日の入試成績だけで、この子の人生がきまってしまう〟と思いつめた親たちの〝進学準備教育先行投資〟競争までも激化させ、教育狂乱時代を現出している。だが、大学出という学歴のおかげで、より高い社会的地位と収入がえられると考える〝学歴〟信仰と夢は、現実には既に崩れかけている▼学歴別の生涯賃金比較を労働者は、大卒を一〇〇として高卒は約九〇と推算しているが、この差はさらに縮まりそうだ。となれば、〝教育投資〟は収支だけでみると採算にあうものではなくなっている。元来、学問研究のための大学が、「大学出だから社会でエリート」の時代を経て、経済が高度成長期の六〇年代以降は、「就職のために大学へ」と進学の狙いも姿態も逆転してしまった。これは大学にとっても問題だった▼いま大学生人口は二百十五万。さらに昭和六十年の大学進学率は、昨年の三八・六％を大きく上回わる五〇〜六〇％と政府筋の調査は予測している。しかし、昨年でも女子は一％ほど前年より大学進学率が低下、男子は横ばいに転じ、従来の上昇一途にストップをかける〝異変〟が生じたのだった。不況とともにふえているのは専修学校への入学率▼就職のためだけが目的なら、大学よりも専修学校へと、親も子も割り切って考えるように変わってきたとしても当然だろう。経済が低成長の寒空に一転したいま、就職戦線に立つ後輩たちの心労が思いやられる。同窓諸賢の暖かい支援を彼らに、と祈りたい。

最高のおくりもの
カタノ紳士服
カタノヨイ　カタノコラヌ　カタノクズレヌ　カタノ洋服店
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通　電話大阪（231）〇五六五〜七
大阪駅前店　第一生命ビル　専門大店　電話　大阪（341）〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロンテーラーカタノ

プレゼントのお考えはきまりましたか
ビジネスバッグ・旅行カバン
GIFT 贈答好適
ご一報者にカタログ急送
サイフ・ハンドバッグ・カバン専門卸
K.K廣島屋本店
取締役社長　蔵田廣造
（昭和25年　経済学部卒）
〒541　大阪市東区博労町1―26
TEL 06―261―2431

●サラリーマンの財産づくりに―
ダイワ財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●㊝とは別枠で 500万まで無税の特典
長い人生――頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

自然と何かを始めよう。
世界の街を、大自然の中を、快適ライフの輪をひろげながら走りつづけるツバメ自転車。今話題のアルミ製テニスラケットなど、日本ではじめてリムを開発した信頼あるアラヤの技術が、いま自然と健康を愛する多くの人たちに親しまれています。
ツバメ自転車
アラヤ メタルラケット
ARAYA
新家工業株式会社
大阪市西淀川区竹島1―1
TEL 06-474-1313（代表）

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　550大阪市西区北堀江上通一丁目十番地　電話大阪（五三八）代表三六二一〜六番
支店　東京・名古屋・福岡
営業所
工場　静岡・川西・神戸

National
電々公社認定品
ドアホンプラスの便利な電話
1本の外線で、3か所まで使え、しかも、ドアホンともお話しできる、新しい時代のホームテレホンです。
ナショナル ドアホン付 ホームテレホン（103）
松下通信
●お問い合わせは…ナショナル通信機器（株）
本社　大阪市都島区中野町3-8-14　〒534　電話（06）352-2171
神戸営業所　神戸市葺合区御幸通2-6　〒651　電話（078）232-3311

ドアホン子機
ボタン電話機

北から・南から
各地支部だより

大阪北支部再建へ十月七日に総会
二二〇名結集へあと一歩

前号既報のとおり、支部に再建へ向かって熱心な準備活動を続けている大阪北支部の第三回再建拡大役員会は、八月五日午後六時から梅田「ミュンヘン」北大使館 貴賓室」に、校区別幹事二十八名の校友が参集して開かれた。

林勲氏より経過説明のあと、校区別に現況報告を受け、前回より検討中の会則案ならびに結成準備委員の人選につき原案を承認、正式に趣意書ならびに加入申込書を配布、これをもって校区毎に酷暑もいとわず勧誘運動を展開することになった。

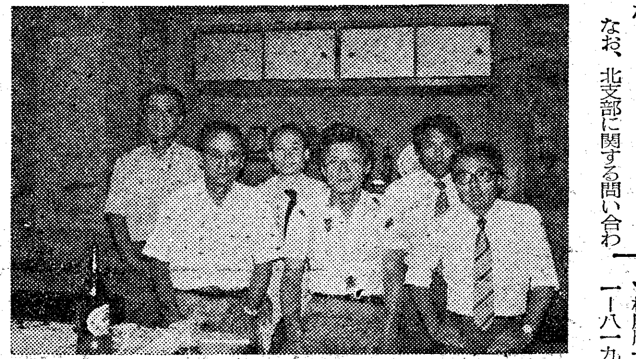
これを受けて九月三日午後六時から大工町「パイン」で結成準備委員会を開き、その後の中間報告を受け、相当数の区外転居者があるに拘わらず、既に一二二名の加入申込がある旨報告された。結成総会一カ月前の段階としては好成績で、この上二二〇名達成を目標に努力することを申し合わせた。

委員会ではこのあと校区別勧誘を主体に展開し、来る九月十六日最終打合わせをして十月七日堂ビル清交社で開催の結成総会に向って準備状況を確認することになった。

なお、北支部に関する問い合わせ先はつぎのとおりとなっている。

▽林勲宅＝電（〇六）三五一ー七七四三

▽松原順一宅＝電（〇六）三五一ー八一九二



大阪北支部菅北地区委員のみなさん

大阪北支部堀川地区委員のみなさん

韓国特許事情の研修会開く
弁理士関大会

特許、商標等の工業所有権がますます国際化される状況の下に、弁理士関大会（鈴木武夫会長）では、韓国弁理士河相鳩先生（大韓民国元弁理士会会長）を招き、去る八月二十三日清交社会議室で研修会を開催した。

特許関係者の間では韓国の特許事情についての関心が非常に高く、当日は会員弁理士のほか多数の弁理士及び特許事務所員等約三十名が出席し、熱心に講師の説明に耳をかたむけた。

講師の説明及び質疑応答により、日本人の韓国への出願に関する審査状況及び将来の展望並びに法律改正等の諸問題につき腹蔵のない適切な説明がなされ、参加者にとって今後の実務に大いに参考となる有意義な研修会であった。

なお、三時半よりの研修会の後六時より希望者による講師を囲んでの夕食会を行い、なごやかなふんい気の内八時前に散会した。

伊勢志摩で夏期研修会
天六同友会

天六同友会では、恒例の夏期研修会をさる七月十六・十七日の二日間、伊勢志摩、的矢湾の真夏の太陽の下「渡鹿野島」において開催した。

前日の十六日昼の部では、第七回ゴルフコンペが「鳥羽カントリークラブ」で行われ、神戸善弘幹事長が優勝し、久井理事長杯を獲得された。準優勝は長島邦光さん、第三位山本守昭さん、第四位小坂光則さんと安定した順位。B賞は丸岡武さんといったところ。

同日夕刻からはゴルフ組と観光組が合流。十九名が参加して「朝潮館」において研修会を開催。引き続き懇親会が行われ、いつものように夜遅くまで、なごやかに同窓会ならではのふんい気をかもしだしていた。

翌日は、前夜の激しい雨もあがり、天候に恵まれた中を伊勢湾めぐりの観光を行ない、昼すぎ鳥羽を後に帰路に向った。なお、今回の行程は、西大阪旅行社（代表者、同友会メンバー園田実氏34年法卒）のお世話によるもの。

当日の参加者は次のとおり（敬称略）

畑下辰典、畑森久三、小坂光則、斉藤淳、山本守昭、西村公郎、丸岡武、樋口徹雄、神戸善弘、園田実、土谷一郎、長島邦光、三宅隆雄、下垣邦彦、西庄俊三、筒井孝一、西谷孝幸、小島秀明

夏期研修会に参加した天六同友会のみなさん

弁理士関大会の韓国特許事情の研修会（右から２人目が河相鳩氏）

大阪福島支部が再スタート
支部長に上田義雄氏
若手校友参加でムード上々

大阪福島支部では、本部組織部の重点施策である地域支部の拡大強化策に呼応して、このたび組織再建がなり、去る五月二十九日午後三時より西九条「此花会館梅花殿」に約五十名が参集して支部総会を開き、華々しく再スタートを切った。

総会は太田勝義氏の進行で、後隆夫氏が経過報告、高瀬善方氏を議長に、新発足に際して「支部規約」を承認のあと「役員選出」をはかった。その結果、

▽支部長　上田義雄（昭25学一商）

▽副支部長　高瀬善方（昭25専二商）長岡博（昭27学一法）

▽会計監査　吉田武文（昭35学一商）安本芳春（昭30学一商）

を決めた。幹事の選出は支部長より後日委嘱することで議事の一切を終え、当日来賓の村上精三校友会副会長、宇津呂雄章組織部役員の各氏から発足に対する激励のことばが贈られた。

長岡博氏の閉会の辞に続き、別室に設営されたパーティ会場に移り懇親会に入り、とくに若手校友の参加でムードの盛り上る中を各自自己紹介がなされ、ともに福島支部の再スタートを祝福した。

幹事の人選結果はつぎのとおりである。

▽幹事　浅野勝（昭41学一法）後隆夫（昭43学一法）太田勝義（昭40学一法）瓜生康浩（昭31学一商）大川元弘（昭40学一法）鍵谷幸雄（昭28学一経）川崎隆章（昭49学二法）篠矢国男（昭28学二経）段上賢（昭43学二商）寺本俊武（昭27学一商）橋本忠実（昭27学一商）疋田詔一（昭40学一経）福島保平（昭30学二商）宮腰健次（昭35学一法）宮崎達夫（昭49学一社）

なおこのたびの新発足は、校友会組織部の呼びかけによる成果であり、ことに担当役員宇津呂雄章氏の働きかけでその端緒が生じた。昨年七月準備会を発足、以来六回の会合を重ねて発会にこぎつけたものである。

支部長に上田氏を選び再スタートの総会を開いた大阪福島支部のみなさん

関大19年卒　在京者の集いご案内

今回の集いは、伊賀定盛君の提唱により、われわれの卒業の九月三十日にちなんで開催することになりました。想えば三十余年前の昭和十八年十二月、陸海にわかれて入隊してこのかた相集うことがない。幸いにして今日に至ったが、いずれの日か懐しの千里山に集会して卒業式の夢を果たし、かつ戦線に花と散った学友の冥福を心から祈りたい。このことを全国にいる同窓に呼びかけるためまず東京で集まろう。

とき　九月三十日（金）午後六時開会

ところ　新宿「東京大飯店」

会費　六〇〇〇円見当

連絡先　尾崎　隆（電（〇三）九八八ー八一一一（代）＝安田生命保険事務センター）

淡路支部結成へ
10月23日に発足総会

本年六月から始められた淡路支部結成に向けての動きは、八月十三日の世話人会の準備会で幕が切っておとされた。それまでにも、校友名簿の作成のために本部の援助、地本出身者の努力が功を奏していることも忘れてはならないと思われる。

八月二十三日に本格的な支部結成に向けての準備会が、洲本市石水亭において行われた。当日の参加者は十二名。準備会ではこれまでの経過報告、自己紹介、会則審議、役員の原案、今後の日程、その他が話し合われ、和気あいあいのうちに総会成功に向けての意志統一をして散会した。

今後の日程については、総会を本年十月二十三日に予定し、それまでに準備会を何回かもつことを考えている。総会の場所については現在未定であるが、総会案内を近日中に出す予定。関係の校友はぜひ参加されることを願ってやみません。

＝連絡先

〒656 兵庫県洲本市栄町一丁目三ー一〇 洲本中央ビル 磯崎泰博司法書士事務所 TEL〇七九九二ー四ー〇二八八

八月二十三日の参加者は次のとおり

山本泰昭、佐野豊、丹羽義春、坂本吉弘、喜田二郎、田中金美、野添忠、辰岡規久浩、藤井新右、磯崎泰博、岡田光正、広岡俊二

（広岡記）

内外国
特許・商標・出願全般
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
大阪市西区西長堀南通一丁目九番地 藤村ビル二階（四ツ橋交差点南50m東側 地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央出入口隣）
電話 大阪 〇六（五三二）七四三一〜七四三四 七四三五（所長室）

10月に全体懇談会を開催
大阪府下自治体職域懇談会

大阪府下関大自治体職域懇談会の第三回幹事会は、九月三日午後二時から、北区堂ビル清交社で開かれ、今後の運営を協議した。その結果来る十月二十二日午後二時から東区京橋錦城閣を会場に府下各市役所に呼びかけた第一回の全体懇談会を開くことに決定した。

当日はこれまでの運営経過を確認のあと、各ブロック単位で担当の幹事から未組織地区の組織化につきその後の動きを報告、既成の十五職域に加え、今回の呼びかけに呼応して七月末には摂津市役所に職域会が結成されたのをはじめ和泉、大東にもその動きがあらわれ、残る十四職域に対しては、ブロック幹事を中心に組織化を呼びかけすることになった。

未結成職域はつぎのとおり。

泉大津、高石、貝塚、泉佐野、泉南、富田林、河内長野、羽曳野、藤井寺、松原、枚方、門真、四条畷、交野の各市役所。

一方これら未組織地区を統合した全体懇談会を、すべてを包含するためのプロセスとして、来る十月二十二日開催することになり、今後幹事会を重ねてその細部につき検討することになった。

なお全体懇談会には校友府議、校友市長をはじめ母校役職者にも参加を願って意義あらしめる。

本懇談会の名称は仮称であった大阪府下市役所連合懇談会を改め正式に「大阪府下関大自治体職域懇談会」と呼称することに決定した。

第三回幹事会の出席者はつぎのとおりである。

▽本部＝担当副会長村上精三、組織部長金本朝一、組織副部長北野繁太郎、組織副部長寺西武、組織部役員原田忠義、組織部役員福永利一

▽代表幹事＝大阪府庁篠原昭三、三島地区鹿野積、豊能地区高田明、泉北地区中村幸夫、北河内地区土肥忠幸

大阪府下自治体職域懇談会の第３回幹事会

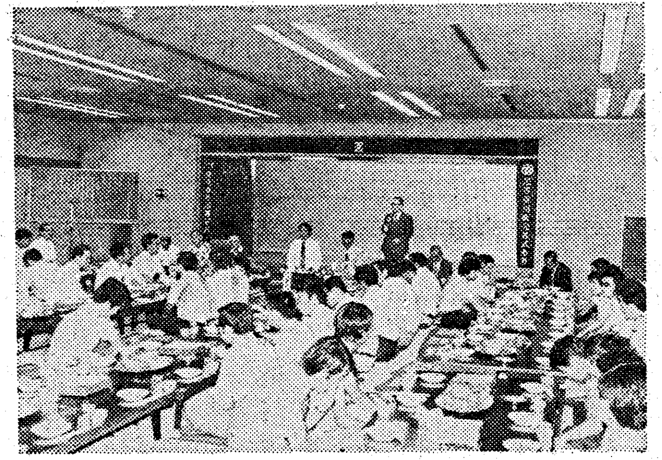
会長に井上和彦氏を再選
尼崎市役所秀麗会総会

尼崎市役所秀麗会（井上和彦会長）では、八月九日午後六時から大物「尼崎産業郷土館」に本部より植垣副会長、弓場尼崎支部副支部長、地元市議原田永信氏らを迎え、出席者百七十名が盛大に総会を祝した。

光陰矢の如し歳月は流るる水の如しというが、尼崎市役所秀麗会も去る昭和三十七年結成以来早や十五周年を迎えた。当初四十〜五十名で結成されたが現在では三百名を越える大世帯になり、本部からも職域表彰第一号の栄誉を受けた。反面その間創始者である中塚薫前会長をはじめ多くの先輩方が退かれ寂しい感がある。今回は新たに心を締め直し原点に戻って再出発することになり、当日の総会も特に変動のあった中にあって協力のもと一致団結でき、総会を盛り上げることができた。

当日の主な決定では役員改選の結果、会長に井上和彦氏を再選、副会長に吉川昇、吉岡敏、山上三二氏が選出されたことが特記される。

懇親会では、先輩、後輩を交え学生時代の話、仕事の話にと花を咲かせ最後に学歌、学生歌を斉唱し散会したのは九時であった。



井上会長を再選した尼崎市役所秀麗会総会

かつての猛者が集う
二部柔道部北斗会が総会

専門部二部柔道部は戦前、関西高専大会で優勝したこともあり、戦時中は近畿中等学校柔道優勝大会を主催するなどめざましい活躍ぶりであったが、戦後専門部が廃止になり、同時に柔道部もなくなった。その専門部二部柔道部員で結成されている関大柔道部北斗会は、八月二十五日午後六時から校友会より藤本事務局次長を迎え、北区万才町の新北京で総会を開催した。

会長の吉田氏より「会員からの要望で久しぶりに北斗会を開催することにしたが、会員の住所不明が多く、仕事などで差しつかえる者が多数出た。今日の出席者は少ないが、次回はお互いに連絡をとり、会員の消息をつかみたいと思う。今日は酒は飲み放題だから、若かりし頃を思い出して思うぞんぶん飲んで下さい」とのあいさつ。早速食いと飲みにかかった。

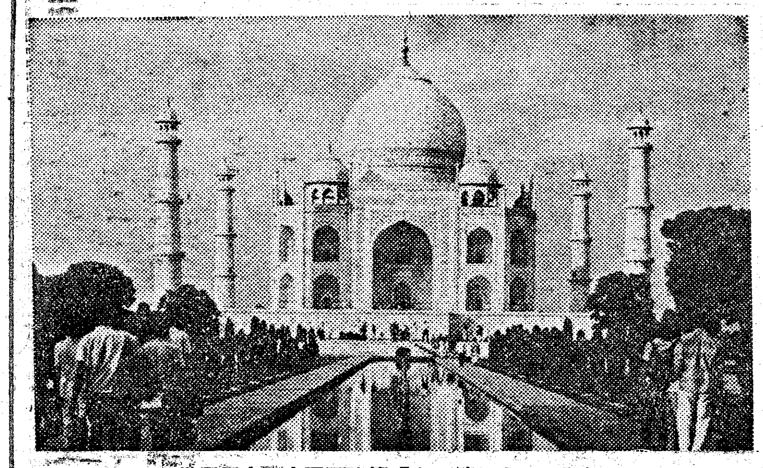
出席者は森田八段、吉田五段、福地五段、植村五段等高段者が多く、学生時代に三段で上海、大連等に遠征した佐々木大先輩の顔も見えた。学生時代の苦しかった練習、高専大会で優勝した話、世界選手権のソ連と日本との試合の批判や、森田八段がオリンピック選手の指導に参加した当時の話（今でも森田氏は毎日柔道着を着て自宅の道場で指導しているとのこと）などが出て話がはずんだ。

北斗会の会員には長年兵庫県議を務めた川井幸太郎氏、大阪府警の柔道師範として定年まで勤務した中野文吉六段がおられるが、今回は仕事の関係で欠席され、またいつも試合の時は応援され、北斗会の会合の時はご出席下さった池田信之助先生が、所用で欠席されたことは淋しいが、次回はご出席下さるようお願いすることにして八時半解散した。

▽出席者＝佐々木長太郎、吉田虎雄、福地正憲、中山鶴一、越田寿幸、桑原守也、植村良之助、峰山利夫、林守男、森田荘二

久々の総会を開いた２部柔道部北斗会

悠久なる大地インドを訪ねて



世界最大の大理石建築「タージ・マハール」

第5回 海外視察ご案内
タージ・マハールとサルナート・ベナレス インド６日間の旅
関西大学校友会

実施期日　昭和五十二年十一月二十一日(月)〜二十六日(土)（五泊六日）

参加費用　二四五、〇〇〇円

予定人員　三十名

参加受付期間　十月二十日まで（但し定員になり次第締切ります）

申込方法　校友会事務局（吹田市山手町三　関西大学会館）TEL〇六ー三八八ー一一二一内線五七二番までお申込み下さい。

校友がともに海外文化遺跡を見学しようという企画の下に、過去四回にわたり実施した、復帰前の沖縄、二度にわたる韓国、そして昨年のインドネシア……いずれも大好評で予想以上の成果を収め、多くの校友から次の企画が待たれていた。これにともない事業部で鋭意検討の結果、インド六日間の旅を実施することに決定した。

行程は別表のとおりであるが、なかでもタージ・マハールは世界最大の大理石建築で、二十二年間の歳月と二万人の名匠を駆使して造られたもので、その偉容はムガール帝国の隆盛をしのばせ、次にサルナートは仏教四大聖跡の一つで、アショカ王時代の仏教の栄華の香りを今に伝えている。またベナレスでのガンジス河沐浴風景は異国ならではの情緒と思われる。

発着とも大阪空港で、現地の最も気候のよい時期に、短かい日数で特に著名な地を選び、インド文化遺跡に接しようといった企画です。

みなさんの参加をお待ちしております。

行　程　表

月日	都市名	現地時間	交通機関	摘要
11／21(月)	大阪 デリー	10：40 23：55	TG611	タイ航空にて香港、バンコク経由デリーへ着後ホテルへ（泊）
11／22(火)	デリー アグラ		専用バス	ホテルにて朝食後専用バスにてアグラへ（所要3時間半）世界最大の大理石建築タージマハール見学、市内観光アグラ（泊）
11／23(水)	アグラ ベナレス （サルナート）	7：00 8：50	IC408	国内航空にてベナレスへ着後空港より32㎞にある4大聖跡の1つサルナートを訪れる。ダメーク大塔、サルナート考古博物館等　ベナレス（泊）
11／24(木)	ベナレス デリー	12：20 15：10	IC408	早朝、ガンジス河の沐浴見学、寺院観光後国内航空にて再びデリーへ（泊）
11／26(金)	デリー バンコク	15：00 21：30	TC304	出発まで市内観光、タイ航空にてバンコクへ　バンコク（泊）
11／26(土)	バンコク 大阪	10：00 20：05	TG620	バンコクより大阪へ入国手続後解散

行事と集い

- ●関大19年学部卒在京者の集い　9月30日(金)午後5時半　新宿東京大飯店
- ●神戸市役所関大倶楽部総会　9月30日(金)午後5時半　三宮そごう9階食堂
- ●大阪国税秀麗会総会　10月1日（土）午後2時　商工会議所ビルニュー国際
- ●北海道支部総会　10月2日（日）午後5時半　石狩会館
- ●西成支部総会　10月3日（月）午後6時　飛田　百番
- ●関大会計人クラブ総会　10月5日（水）午後6時　ホテルプラザ
- ●貝塚支部総会　10月6日（木）午後7時　貝塚市産業会館
- ●北支部総会　10月7日（金）午後6時　ミュンヘン北大使館
- ●昭和52年度校友総会　10月16日（日）午前11時　大閤園
- ●関大自治体職域懇談会　10月22日（土）午後2時　京橋錦城閣

新聞発行協力金つづき

横山茂夫　吉川栄司　吉川宏　吉田章　吉田一郎　吉田政義　吉田幸世　吉田利一　吉野光正　吉橋鐔美　吉房仁三郎　吉本孝治　吉本ひで子　米沢克美　米沢照厚　八木迪夫　八木弘　矢野秀治　安岡浩司　安田徳子　安田正俊　安井幹広　山尾均　山口富太郎　山口博敏　山崎隆生　山崎久由　山崎勇正　山下勇　山下和夫　山下栄　山下清三　山下博司　山下幸男　田山和義　山田健治　山田周市　山田富男　山名崇文　山本晩　山本覚　山本茂　山本俊一　山本直文　山本長夫　山本博子　山本弘　山本紘志　山本善章　山本吉孝　和田一成　和田武夫　若井伝次郎　若井敏次　若林政次郎　渡辺幸博

以上六〇二件　小計三百二万五千円也（七月五日から八月一日までの扱い分）

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島泰甫
〒550 大阪市西区江戸堀一丁目二五ー三〇（とみたビル）
電話（四四一）二一〇〇・一三九四（四四五）〇一五〇

化学機械・工学設計の粋を誇る
貴社の工場或は装置の新設改造には先づ
弊社の技術スタッフを御利用下さい
キムラ式
化学装置　設計・製作・工事
本社工場　尼崎市杭瀬字上島1番地1
電話 大阪（488）2501（代表）
大阪本部　大阪市北区永楽町46番地
電話 大阪（345）6261（代表）
東京支店　東京都中央区銀座4丁目10ー4（明治時計ビル）
電話 東京（541）2191（代表）
木村化工機株式会社
取締役社長　小林　敦
常務取締役　木村雅光（昭和30年商学部卒）

化合繊機械装置及び
公害機器の設計施工
株式会社 石山製作所
取締役社長　木村雅光
本社・膳所工場　大津市膳所1丁目12番25号
〒520 電話（0775）代表㉒6665
栗東工場　滋賀県栗太郡栗東町大字大橋388ー1
電話（07755）代表②0851
出張所　宇治・岡崎

鉛管・鉛板・卸商
木村モータープール
不動産管理
木村不動産株式会社
取締役社長　木村雅光
大阪市北区永楽町46番地
電話（06）341ー3339（代表）

ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区梅ケ枝町七一　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五〇番（代表）
〇〇五一番（代表）
営業科目
化学陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・造園工事）
公害防止機器並に装置
貸ビル・貸マンション

お時間拝借

校友あれこれ対談

—67—

㈱菊屋・取締役社長 **土田庄太郎氏**

聞き手 **吉田三七雄**

土田庄太郎氏

「お城の口餅」由来記

天正時代から四百年の家柄

吉田 いつもお忙しそうですね。あなたをつかまえるのに、ひと苦労しましたよ。

土田 あっちこっち飛び回っていますので。えらいお手数かけてすみません。

吉田 えらいケッタイな言い方になりましたなァ。僕がつかまえに行って、あなたが逃げ回ってるみたいで。（笑い）

土田 いったい、どんなことを申し上げたらよろしいんで？

吉田 いよいよケッタイな具合いや。なんや僕が尋問しているみたいで。（笑い）いやネ、関大の校友ということで、あれこれと軽い気持でお話をお聞きするだけのことなんです。

土田 それじゃ、軽い気持でお答えすればいいんですね。それで安心いたしました。（笑い）

吉田 どうせ聞き手が聞き手やから、そんな改まった、固苦しいことを聞くはずがありません。あなたとこのお菓子みたいに、甘おて柔らか～い人間やから。（笑い）そのお菓子のことですが、お菓子の菊屋さんと言えば、随分古いお家柄なんですねえ。

土田 先祖が大和の郡山で、天正年間から城中のご用菓子を司っていましたので、四百年ほどになります。

吉田 ほほう。すると、今で何代目になるんです？

土田 二十六代になります。

吉田 天正時代から、ずう～っと続いたお菓子屋さんというと、これは大したお家柄ですねえ。すると、菊屋さんのお家芸と言いますか、名物になっている「お城の口餅」というのは、その時分からの餅菓子ですか？

土田 時代によって少しずつ手を加えたりしているでしょうし、完全に昔のままとは言えないかも知れませんが、古いお菓子の文献にこんなことが書いてあります。それによりますと、郡山百万石の城主大和大納言秀長が、兄の関白秀吉をお城へ招いて、豪華なお茶の会を催された。その時にわたくしどもの先祖に、なにか珍らしい菓子を造って届けよとのご用命があり、先祖が謹製しでお届けいたしますと、秀長公はたいそうお喜びになって、「これはよく出来た。鶯（うぐいす）によく似ているな。今後鶯餅という名にいたせ」と仰せられた、というのです。これが鶯餅の元祖というわけですが、つぶ餡（あん）を求肥（ぎゅうひ）で包み、青豆をひいた粉をまぶした餅菓子です。きな粉と言いますと、大体が大豆をひいた黄色い粉ですが、わたくしどものは青豆をひきますので、ほかのきな粉とはちょっと違います。それが特徴で。

吉田 なるほど。

土田 これがえらい評判になりまして、店が郡山城の前にありますので、「お城の口の餅を買いにいこ」「お城の口の餅や」と遠方からもわざわざ買いに来て下さいました。そこでわたくしども店でも、「いっそのこと、お城の口餅にしよう」ということになり、「お城の口餅」を登録商標にしたというわけでございます。

吉田 なかなか面白いお話ですな。その郡山のお店ですが、今でも奈良の郡山にお店があるし、大阪の高麗橋のお店も本店ということになっているし、その辺はどういうことになってるんです？

土田 いえ、別にどういうわけでもないんですが、大きく奈良と大阪に分けまして、大阪のほうはわたくしの父が会長で、奈良のほうは父の弟、つまりわたくしの叔父が会長をしているというだけのことなんです。これにも面白い話がありまして、昔は今のように自動車が無かったもんですから、奈良で造った「御城の口餅」を、店の者が両手にぶら下げて、毎日歩いて大阪の店へ届けに来ていたんです。それも、一日に三往復したということです。

吉田 へえーっ！ 奈良と大阪を毎日歩いて三往復！……今の人やったら、一週間も勤まらんやろなあ……。（笑い）

土田 そうでしょうねえ。

吉田 菊屋さんは、この「御城の口餅」のほかに、「名菊最中」とか「菊あわせ」とか、また平安期ごろの軒丸瓦の文様を皮にした「甍（いらか）最中」など、最中に力を入れられているほか、蒸菓子、棹菓子、煎餅と、和菓子類はなんでも造ってられますが、最近のように洋菓子がドッと出回わってると、それに押し切られるというようなことはありませんか？

土田 なかなか突っ込んだ、きびしいご質問ですねえ。ハッキリ申し上げまして、今のところ和菓子が洋菓子に押し切られるようなことは、絶対にないと思います。茶の湯、生け花人口が減り、生活様式がすっかり変わったと言いますが、日本人には昔からの、風味を尊ぶ味覚がまだ残っていますし、洋式のマンションと言っても、まだひと部屋だけは畳を敷いた日本間があり、ダイニングルームで腰掛けていても日本のお茶が飲まれている以上、和菓子の世界は大丈夫だと思います。

吉田 原材料の点ではどうです？

土田 ご承知のように、和菓子の主な材料と申しますと、小豆と砂糖ということですが、昔から面白い現象がありまして、どういうわけか、砂糖が不足して高値になる年は小豆の値が下り、小豆が暴騰すると砂糖の値が下るんです。それで、まあまあ、なんとかうまくいっていますが、小豆は昔から畿内の大納言と、岡山、兵庫の丹波の、きまったところのものしか使っていませんので、別に困るようなことはありません。

吉田 ところで、土田さんは、文学部の新聞学科の卒業ですねえ。

土田 そうなんです。

吉田 菊屋さんの後継ぎは、最初からまきってたんでしょ？

土田 ええ、長男ですし、それが、中学時代から文学が好きで、菓子屋のあとを継ぐんだったら、どの学部でもあまり変われへん。それより、好きな学部を選ぼうと思うて、文学部に入ったんです。

吉田 それで、新聞学科を選ばれたのは？

土田 本当は、新聞記者にも、ちょっと憬れていたんです。

吉田 ちょっとだけでよかった。（笑い）僕みたいな、つまらん記者になったら、えらいこっちや。（笑い）

土田 トンだご冗談で。（笑い）

吉田 お邪魔しました。

土田庄太郎（つちだ・しょうたろう）昭和32学一文・新聞学科卒。株式会社 菊屋・取締役社長

千里雀

★ヤイトで百歳まで

ひと頃はリュウマチで歩行も困難なご様子だった川上敬逸先生（名誉教授・東大阪市菱屋東二の七の五）最近はステッキもつかず、鞄片手にお元気そう。

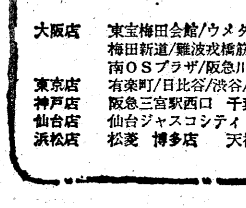
健康の秘密はお灸の由。「九大法科の後輩が、なんでもお灸で治療できるというので、まさかと思いながら何カ月かお灸に通ったが、ステッキを忘れ帰るようになり、この通りすっかり元気になった。夏負けもせず、この調子だと百歳はかたいで…ハッハッハ」

川上先生の"お灸の先生"によると「西洋医学は、学説は仮説、処置は試行錯誤。当節ふえた難病には手も足も出ん。私は胃ガンでも、お灸で治した例がある」と大変な意気ごみよう。ま、詳しくは、川上先生（電・0729・63・4555）にお聞き下さい。（芑）

★ガーナで理数科の先生に

青年海外協力隊員として、西アフリカのガーナ国へ派遣され、一年間現地の工業高校で理数科を教える関大、大学院生がいる。海南市出身の平岡芳樹君（二七）で「健康には自信があり、自分の力を試したい」と八月十七日東京から赴任した。（毎日新聞八月三日和歌山版で報道）

健闘を祈りたい。



おそばのおいしいお店
家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
大阪店 東宝梅田会館/ウメダ地下センター/阪急三番街 梅田新道/難波戎橋筋/ミナミ地下センター 南OSプラザ/阪急川西能勢口駅前
東京店 有楽町/日比谷/渋谷/蒲田/池袋/新宿
神戸店 阪急三宮駅西口 千葉店 セントラルプラザ
仙台店 仙台ジャスコシティ 札幌店 丸井今井本店
浜松店 松菱 博多店 天神コア

サークル活動の周辺

(17)

天六同友会は、昭和四十九年四月創立いらい、活動する同窓会として有名で、母校百周年記念事業提言委員会を設け、熱意ある会員の意見を求め、また、第二部の現役学友会の幹部と意見を交換したり、研修会を毎年開催するほか「同友会だより」を発行するなど、多彩な活動を行っている。

なお、今回の寄付金の出資者は左記のとおりである。

藤本道人、沖行雄、吉田泰高、西庄俊三 村上圭 佐々木弘 神戸善弘 金田昌介 吉井俊夫 清水政義 坂東敏雄 下垣邦彦 富田治子 丸岡武 摂田正弘 土谷一郎 浅田義信 樋口徹雄 康承石 李昌烈 望月桂 戸田幸範 松本茂 小島秀明 佐和田丸 細川嘉彦 横畠正秀 長鳥邦光 阪口孝之 高橋正樹

社会の生の事実に触れ勉強

関西大学法律相談所

我が関西大学法律相談所は、今年で創立15周年を迎え、諸先輩の築き上げられた伝統を汚さぬよう、一層の熱意を抱いて活動を続けています。

現在、総所員が百名足らずで、各学年別に四年生を中心とした法律研究会を週に二～四回行っており、また、毎週土曜日には午後一時～三時まで大阪北市民館において、無料法律相談を行っております。これには、先生や先輩の方々によくご出席いただき、ご指導を仰いでおります。

それから、もう一つの大きな活動として、夏季移動法律相談を行っております。これは、大阪以外の地方の法律問題で困っている人々にも、できる限りの援助をしてあげようという趣旨に基づいてなされています。今年は、八月二十二日から二十四日まで倉敷・総社・岡山と三市を訪れましたが、沢井・岩本・明石教授、高森・永田助教授、それに上原大阪弁護士会副会長 他諸先輩の参加をいただき、幸い相談件数にも恵まれて盛況のうちに終りました。

以上法律相談所は、社会の生の事実に触れ、それを糧としてさらに勉強を積んで行くものでありますが、社会的責任を伴うものであるゆえ、諸先輩方の援助・協力・ご指導をつとに請うものであります。

なお、九月一日付をもって、沢井裕先生が所長をご辞退なされ、新所長に岩本慧先生がお就きになられました。沢井先生には五年間お世話いただき、所員一同深く感謝致しております。

新しい経済の流れ考究

証券研究会

資本主義経済の根幹としての証券市場を通して日本経済を分析し、考究しようとするのが証券研究会です。日本経済は昭和五十年代に入って、安定成長期を迎えました。国債や地方債が大量に発行され、企業では借金経営の困難から自己資本の充実が叫ばれ、また景気の低迷にもかかわらず株価が高騰するなど、証券界には考えなければならない問題が山積みされています。それだけに、証券研究会としては話題に事欠くことがないわけです。

日頃の活動は、クラブ内での研究会もさることながら、関西の各大学の証券研究会で組織している関西証券研究学生連盟主催の春・秋の大会や、全国大会での論文発表や討論、関西学院大や明治大・中央大などとの交歓討論会など、他大学との交流も活発で、互いに親睦をはかり、知識を深めあっています。また、年度ごとに機関誌「千里」を発行し、一年間に書いた論文を発表しています。

証券研究会と聞くと、株でもやってひと山あててやろうかというバクチ好きの集まりという印象を持つ人がいます。また逆に、まじめくさったことをガリガリ勉強してばかりいるお固いクラブという印象を受ける人もいます。しかし証券研究会は株の売り買いをしたり、相場師を養成したりはしていませんし、クラブ員相互の親睦のためのレクリエーションも盛んに行っています。

早いもので関大証券研究会も結成二十五周年を迎えようとしています。日本経済が新しい時代に入った今、私達証券研究会は長い伝統を踏まえながら、この新時代を鋭く見据えてゆきたいと思います。（島田弘昭）

移転

▽松下正博（昭45学応化）堺市浅香山町一ノ二六八
▽三河 智（昭51学一社）東京都東久留米市幸町三ー七ー一三菊和荘六
▽三村元庸（昭40学一法）神戸市長田区久保町九ー五ー四
▽三村 譲（昭49学工金）兵庫県相生市山手町四九七ー二三
▽三好正信（昭48学一独）松山市鷹子町七七三ー二
▽宮木 要（昭17専二商）京都市南区吉祥院石原長田町一ー一、三ー五一〇
▽村角 明（昭48学一法）茨木市鮎川二ー七ー一四
▽村角真喜子【下脇】（昭50学一英）茨木市鮎川二ー七ー一四
▽元野原史（昭43学工管）東住吉区湯里町三四九ー一ー七〇二
▽桃井恒実（昭39学工機）愛知県岡崎市美合町字下長根二六ー三
▽守屋八郎（昭29学一法）茨木市玉水町三ー四四
▽森本正明（昭43学一経）南河内郡狭山町西山台二ー一七ー一〇
▽家満登 武彦（昭31学一商）奈良市登美ヶ丘一ー六ー一二
▽山内一像（昭48学一法）枚方市香里ヶ丘四ー一五ー二
▽山田香代【田中】（昭47学一社）尼崎市高田字菱付所八四ー五県住二ー一〇五
▽山田三郎（昭46学工電）尼崎市高田字菱付所八四ー五県住二ー一〇五
▽山本一美（昭41学二法）南河内郡千早赤阪村大字小吹六八ー一二四
▽山本勝弘（昭43学一新）吹田市千里山一ー一六ー四千里苑五〇一
▽山本康澄（昭41学工金）広島市江波西一ー二八ー八ー二〇二
▽湯川博旦（昭46学一社）京都府乙訓郡大山崎町字大山崎西高田六ー六五
▽行俊謙次郎（昭22専一商・25大経）吹田市藤白台三ー五A一〇ー一〇二
▽横尾保徳（昭37学工電）徳島県海部郡海南町大里中小路三四ー一
▽横山 隆（昭37学一法）神戸市兵庫区東山町一ー八ー五
▽吉川正典（昭41学一経）東京都日野市南平五ー五一ー一
▽吉田和男（昭48学二商）奈良市法華寺東町一三七四ー三
▽吉仲秀明（昭51学一商）京都市左京区岡崎西天王町八二ー一吉仲明雄方
▽米田純子【西本】（昭47学一英）奈良県御所市東名柄一三
▽渡辺 実（昭50学一商）浜松市松城町一〇九

体育会各部 52年度上半期戦績

アーチェリー	春季リーグ戦 男子2部リーグ2位 女子2部リーグ3位 関西学生個人選手権決勝8名進出 全関西2名出場
アイス・ホッケー	関西学生氷上競技選手権2回戦進出 全関西選手権出場
空手	西日本選手権2回戦進出
弓道	全日本学生選手権男子団体ベスト8に進出 男子遠的個人5位
剣道	全関西個人 高田5回戦出場安井4回戦出場 全日本・高田・安井出場
拳法	全関西学生選手権3位
庭球	春季リーグ2部3位
野球	関西六大学春季リーグ3位
ゴルフ	春季リーグ2部2位
射撃	春季全関西学生ライフル射撃選手権総合団体優勝S.B団体2位A.R団体4位
重量挙	西日本学生選手権9位
自動車	全関フィギャ団体戦優勝 個人戦大型貨物・小型貨物優勝
水泳	近畿春季大会100M1位 200M1位 関西学生選手権総合3位 個人400M自由型天野実1位 400M個人メドレー山田吉宏1位
相撲	西日本学生リーグ2部落ち 西日本学生体重別選手権西垣軽量級3位
卓球	春季リーグ戦 男子2郎リーグ3位 女子1部リーグ4位
ハンドボール	男子1部リーグ復帰
バドミントン	関西学生リーグ2部2位
バレーボール	春季リーグ3部優勝2部昇格
馬術	全関西学生選手権 女子選手権3位 女子複合競技3位
フェンシング	リーグ戦2部1位（エペ2部2位総合優勝）
陸上ホッケー	春季リーグ1部4位
ボート	朝日レガッタ準決勝進出 関西選手権準決勝進出
ヨット	関西インターカレッジ1部 総合8位
陸上	全日本大学駅伝出場
レスリング	西日本2部リーグ2位 全日本アマチュアレスリング・グレコローマンスタイル90Kg級3位（宮田）西日本学生個人選手権82Kg級2位（宮田）
ソフトボール	春季リーグ2位
ボウリング	関西1部リーグ復帰
サイクリング	近畿地域自転車道路競走会6位
器械体操	西日本学生選手権 団体総合7位 関西学生選手権 団体総合9位
ホッケー	春季リーグ1部4位

創立90周年記念募金

寄付免税は九月末日まで

関西大学創立90周年記念募金につきましては、校友のみなさんならびに関係者各位のご協力ご援助をいただきまして、誠にありがたく厚くお礼申しあげます。

寄付募集免税の期限は、この九月末日となっております。校友のみなさんの一層のご協力を特にお願い申しあげる次第であります。

○ご送金は左記にお願いします。

(1)銀行振込の場合

大和銀行天六支店 三和銀行淡路支店
住友銀行天六支店 第一勧業銀行天六支店
富士銀行大阪支店 三井銀行天六支店
太陽神戸銀行吹田支店 三菱銀行豊中支店
の**学校法人関西大学普通預金口座**

(2)郵便振替の場合

振替口座番号**大阪四二三三番関西大学**

吹田市山手町三ノ三ノ三五
関西大学創立九十周年
記念事業募金事務局
TEL（〇六）三八八ー一一二一

関西大学創立90周年記念募金寄付者芳名

—(11)—

（52・8・1～52・8・31）

一二四件 四、五七四、〇〇〇円

申込総合計 五、五七七件

一八五、四八六、四五六円

（52・8・31日現在）

▽一〇〇万円 ㈱ミロク経理

▽七〇万円 安田生命保険相互会社

▽三〇万円 柳楽喜祐

▽二〇万円 テック電子事務機㈱

▽一五万四千円 近畿郵政関大会

▽一〇万円 稲野治兵衛、㈱中国武警、㈱武警

▽五万円 北野繁太郎、小山照雄、肥塚武夫、佐藤 稔、津川緑太郎、寝屋川市役所千里会、長谷川慶介、武藤良明、森 寛紹、和田栄太郎

▽三万円 金本朝一、木谷認良、工藤 清、小杉誠造、樽本 亨、蛭戸 勇、野沢 徹、原田 禎、堀本勇吉

▽二万円 アトム電機㈱、安倍一郎、石坂倭文子、猪子外男、今西豊一、上垣 実、神野富夫、菊地良雄、杉原幸一、鈴木武夫、高野陽夫、高松修二、西井久明、福住豊、前田幸次、宮川 信、森永義雄、吉田正信

▽一万円 足立 進、朝倉清春、天野 満、伊藤喜久郎、飯田恭三、池戸 保、乾 喜久夫、内山正一、小畑ふみゑ、大谷 晋、大本宗利、加納金男、賀屋雅雄、金村 勝、狩場仁治、川北輝夫、河合真幸、河合 実、神田実利、神田徳造、北野三治、国武正男、栗尾吉重、黒住郁雄、黒田良治、小谷マツヱ、小寺忠昭、小西登一、小林 保、小林寿男、後藤 実、塩田賢二、塩本一郎、柴田藤一、島田安信、鶴 由昭、新屋 実、末吉 進、曽我部 宏、田中章夫、田中末生、田辺雄三、田村 晃、高岡幸弘、高垣友一、高村和夫、谷 輝夫、谷池千代子、玉士ふみ子、千原主殿、張 癸元、辻 文夫、砥綿通博、殿村瑞栄、中野義輝、中村好治、中山義行、長沢義市、長田貞次、野坂和生、野崎喜幸、野地武文、服部賢治、文野勲、星 正紀、前田命治、牧野和男、増田軍治、松井久治、松尾巖、松尾久雄、溝渕 泉、矢島俊男、山田一男、山田清治、横山成美、吉川正男、吉本ひで子、和田丈夫

天六同友会が二回目の寄付

母校の創立九十周年記念募金は、この九月末で締切られるが、去る九月一日、関西大学天六同友会では、同友会々長の大森氏から、久井理事長に「金十万円」の寄付金が、贈呈された。この寄付金は、去る六月十一日の同友会の総会の席上での出席者からの拠金、ならびに、その後、同会の有志からの篤志によるものである。

なお、天六同友会は、昨年の十月にも、同友会の名で、金十万円を寄付し、これで、同会の関係では二回目である。

書斎の窓

(77)

文学部教授 **大庭 脩**

木簡研究との関わり

私の書斎には二つの窓がある。こういう書き出しで、そのうちの一つの窓である「江戸時代の中国貿易」のことを述べたのは、もう五年前のことになる。

そこで今日は、もう一つの方の窓が開いている中国古代史のはなしを述べてみよう。

私は中国古代史のなかでも漢代史を専門にしているが、それは学生時代からのテーマで、興味はいまでも尽きせぬものであるが、何故漢代を選んだのかというと、単純な動機があった。私を導いて下さった石浜純太郎先生は、内藤湖南先生に私淑されていたので有名だが、ある時私に「内藤先生は中国史を研究するのに、遡るにしても降るにしても、先ず漢からやるのがよいとおっしゃった」と話された。この話は私には二度目で、それより先に、私を高校で教えた吉田清治先生から聞かされたことがあった。吉田先生も内藤先生を崇拝しておられた。それで私は、石浜先生も吉田先生も内藤先生は偉いと言いながら、自分は一向に漢をやっていないではないか、と変な反発心がおきて、先生よりも忠実に内藤説に従うつもりになった次第である。今となっては離れるわけにはゆかないし、そのつもりもないが、動機が単純であるだけに、他のどの時代でも魅力があり、やってみたいことは山程あって、情緒は甚だ安定しない。

ただ近頃は、漢代史をやる人が少なくなって来たのと、中国での発掘が秦漢時代が中心ともいえる程多いのとで、ほかに色気を出すのを厳に慎しもうという気持が強くなっている。

漢に焦点をあわせたことが、私にとって幸運であったのは、大学を出て二年目頃から、居延漢簡の研究が京大の人文科学研究所で始まったことである。

居延漢簡というのは、一九三〇年に、今の内蒙古自治区エチナ川流域に点在する漢代の見張台遺址からスウェーデンの考古学者フォルケ・ベリイマンによって採集された、木に書かれた文書で、漢代では竹や木、すなわち木簡に文字を書いていたところから漢簡とよばれる。居延というのは発掘地帯の一部の漢代の地名である。居延漢簡は約一万一千点あるが、これが北京に運ばれて整理中に第二次大戦がおこり、作業は中断して木簡は日本軍占領下の北京から秘かに避難したものの転々と所在を変え、一方整版中の写真は上海で戦火に遭い、わずかに重慶へ逃れた労榦という学者によって研究が続けられ、その苦労の成果が一九四三年に四川省南渓で石印本で発行された。

もとより我が国には長く伝わらず、一九五一年になってやっと一本が京大人文科学研究所に到来したのであった。研究所では森鹿三先生が中心となって漢簡研究が組織的に始められたが、この研究会に出席を許されたことは、私の一生の方向を決めた。その上、一九五二年の初めに、三年前に上海で再版された労榦氏の「居延漢簡考釈」という最も基本的なテキストを逸早く入手したのもまた、幸運であった。

この本は多く見積っても日本に二十部余りしか入らなかったもので、当時私は兵庫県の三田学園に奉職していたが、今はなき東京の文求堂の目録で見つけ、思い切って電話注文をした。昭和二十六年の末頃の電話事情を知る人には、この決意のなみなみならぬことがわかって貰えるだろう。その上代金は当時の私の月給のちょうど四分の一であった。もっともこの代金は、昭和二十七年二月に結婚をすることになっている私への祝いとして、三田学園の同僚諸公が払ってくれた。昭和二十七年のお正月に、恒例の年賀に石浜先生のお宅へ上った時、「居延漢簡を手に入れまして」と話したところ、「何だ俺が買うのを邪魔したのはお前か」と先生は小さい眼を一杯に見開いて睨まれたが、電話で注文したと聞いて兜をぬがれ、「それは速達でも駄目なはずだね、まあ君の方が役に立つだろう」と諦めて下さった。

研究所の研究班は正式には二年程で終ったが、その後写真版が出、中華人民共和国から「居延漢簡甲編」という本が出るというように、居延漢簡の瓜あとを深く研究史に残して一向にすっきりした決定版が出ないままに後を曳いた。新しい出版があるごとに、森先生と、藤枝晃京大名誉教授、米田賢次郎滋賀大教授と私とは、もとの研究班の生き残りとして会読を行った。その間、永田英正富山大教授、町田章奈良文化財研究所員、それに現ケンブリッジ大学のマイクル・ローウェー博士が後から加わった。この非公式の漢簡研究会が集まれなくなったのは、結局は大学紛争の影響と見ざるを得ない。

木簡研究というのは特殊な分野で、大変地味な仕事である。木簡に書かれた文字は、漢代の通用字である隷書体で、きっちりとした丁寧な書もあれば、走り書きもあっていろいろである。内容は当時のその地域にあったあらゆることがはいっていて、大部分は公文書や公用の帳簿の断片であるが、私信もあれば書物もあり、薬の処方あり、カレンダーありというようにバラエティに富み、総体的にいえば場所が辺境の匈奴に対する見張台や前線基地であるから軍隊に関するものが多数をしめる。ただ紙が発明される前のものが多いので、何でも木に書いていて、その点日本で出土する木簡が、紙の発明以後であるために木の特性を活かした特別な用途に限られた内容であるのとは趣を異にする。そしてこれらの木簡が埋もれて残ったのは全く偶然によるので、自然、当時、すなわち前漢後半期の日常茶飯事を無作為に抽出したことになり、時たま漢書などの当時の歴史書に著された事件や人物に関連のある内容の書かれたものもあるが、ほとんどは関連をつけるのが難かしいものである。漢代の具体的な生活を知ることは可能だが、歴史の流れを知るには程遠いものなのである。文字通りの断簡零墨をつなぎ合わせながら研究を進めるので地味な仕事だと言わざるを得ない。

そういう木簡に最近注目が集まり始めた。原因は二つあって、一つは平城京をはじめ国内の各地で日本古代の木簡が出土することとの関連においてであり、既に一昨年度と昨年度、奈良国立文化財研究所平城京発掘調査部主催で二度にわたって木簡研究集会がもたれ、森先生をはじめ私共が中国の木簡を研究している者として参加を求められ、意見を求められている。これは我々の研究にも大きな刺激であって、日本木簡の研究の角度、方法や、研究者から出される疑問は、従来の研究に多くの反省をする契機となっている。

第二は、中国の文化大革命以後の発掘の結果、重要な木簡の出土があって、従来の木簡研究との関連において新出木簡（あるいは竹簡）を位置づけ、研究を進めていかねばならないからである。先日この欄で金谷治氏があげられた臨沂漢簡（孫臏などの竹簡に書かれた兵書）なども最も重要な一つである。一九七五年末に湖北省雲夢の秦墓から出た秦の法律を書いた一千点の竹簡は、始皇帝墓から出た陶製の武士や馬の俑とともに、従来資料の乏しかった秦代の重要な資料で、漢の研究とも直結関連する興味深いものである。

以上のような次第で、私は漢代史といっても、木簡と深い関連をもった研究生活をしてきたので、昨今一つの節にさしかかったことを考えて仕事を進めている。その一つは新出土資料を使って目でみる中国史を作るという講談社の「図説中国の歴史」の第二巻「秦漢帝国の威容」を執筆したときに、相当沢山の木簡を入れて興味を持ってもらえるように配慮したのであるが、更に「日本美術工芸」誌上に今年初めから「木簡のはなし」を連載中で、非常にわかりにくい木簡について何とか研究者が増えてくれないものかと啓蒙の努力を進めていることである。

その二つは、今年一月に訪中した富山大学の永田英正教授が中国科学院考古研究所長夏鼐氏から聞いたところによると、一九七三、七四年に、先にのべた居延地域が再調査され、一万五、六千点の居延漢簡が出土し現在整理中であるという。これはベイリマンの発掘を上まわる数で、この写真が発表されたなら、万事後まわしにして優先的に取組まねばならぬ仕事になる。それまでの間に、従来の研究の整理、反省をしておかねばならないと考えて、目下心を新たにして先学の論著を読みなおしている。

そして新しい居延漢簡の報告書を手にしながら、それを研究するのが今後の私の課題であろうと自覚するにつけても、その時に私と共に研究を進める学徒が、一人でも多く本学の東洋史専攻生の中から出てほしいと望んでいる。一つの節というのはこういう意味である。

大阪・神戸・京都・宝塚を
最も便利に結ぶ
阪急電車

運転免許は
校友がお世話する
"大阪鶴見の"
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2—13
〒538 TEL(06)912—7171
担当 太田清太郎（昭29.学2法）
優待証 関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

濱本工機株式会社
濱本工運株式会社
取締役社長 濱本正吉
（昭和14年大法卒）
本社 兵庫県尼崎市西本町3丁目1番地
電話 大阪 412—2161～3
現業所 尼崎市東高洲町1番地
電話 大阪 411—5751～2
411—0033
411—0365
営業所 尼崎市扶桑町2丁目1番地
電話 大阪 401—4975

イワオ カーメインテナンス
自動車管理専門家集団
（維持経費節減・安全・公害防止に）
煩らわしい車輌管理一切の業務代行引受
リース・年間保障契約
無線パトロールサービス
事故保険・車険・増車・廃車
校友の方には特別相談に応じます
イワオグループ
代表者 千巖克郎
（昭26、経、卒）
㈱イワオ 大阪市天王寺区玉造本町14の1 762—6741（代）
㈱巌 東大阪市中野245 0729—61—4362（代）
日産チェリー販売㈱ 大阪市南区上本町4の625 768—8721（代）
㈱イーグル 大阪市南区上本町4の625 761—7125（代）

資本金・1億75万円 社員 350余名
当期売上目標・220億円 関大出身21名
不況に強く躍進を続ける
Fashion 丸光
綜合衣料品現金問屋 丸光株式会社
〒541—— 大阪市東区南久宝寺町2丁目54
本社 ☎ 大阪（06）262—1501（大代表）
貿易部 大阪（06）262—4831（代表）
—バイタリティあふれる—
—来春新卒ファイトマンを求めます—

日本人はなまけ者？

24年ぶりの韓国を訪れて

芦田 定男
（昭18大政）

◇一衣帯水

厚い雲の層を抜けて八千㍍上空は快晴だった。雨の大阪空港を飛び立ってから四十分もたっただろうか、私の乗っていたKAL機が急に左に傾いた。何ごとかと一瞬緊張して窓の外を見つめていると同じ高度でジェット戦闘機が銀翼を輝かせながら雲海の上を逆の方向に飛んでいった。

山陰の基地から緊急発進した自衛隊の飛行機だったのかもしれない。この戦闘機が雲海の下から急に姿を現わした時、KALのパイロットは「はっ」として左に避けたに違いない。そんな推測をしながら、私は一衣帯水の日韓間の大空の上にも、目に見えぬ国境があることを実感していた。

◇七百五十万人の首都

金浦空港に着陸態勢に入ると、ソウル周辺の山々の緑が鮮かだった。私には二十四年ぶりの韓国―国連従軍記者（毎日新聞特派員）として、立川基地から赴任の際、米軍機から見た韓国の山々は木も生えていないハゲ山だった。生まれて初めて訪れた韓国でのこの第一印象が強く脳裏に焼きついていただけに、いま眼下に見る山々の鮮かな新緑は、韓国での平和の定着と、豊かなうるおいを象徴しているように私には思えた。

さらに驚いたのはソウルの変貌（ぼう）だった。高層ビルの林立するソウルは、かねて写真で見て知っていたが、明洞には地下街や四十五階のホテルなども建設中で、漢江には十三本もの近代的な橋がかけられている。

私が韓国戦争従軍中は、ソウルから永登浦への鉄橋と並んで、漢江の橋は一本だけしかなかったし金浦空港は戦闘機基地、輸送機用飛行場は「K16」と呼んでいた漢江の中洲・汝矣島にあった。水位が上がると島の一部は冠水したものだ。その汝矣島がいまは地あげされ、道路も整備されて広大な新市街になっている。新しい国会議事堂もここにあり、住宅用高層マンションが建ち並ぶ威容に私は目をみはった。

人口三千六百万の韓国だが、首都の人口がなんと七百五十万人。三年続きの豊作で米も自給できるようになり、ことし元旦からは、〝週二日の米無しデー〟も廃止されていた。電力は節約励行で、四月からネオンなど制限されたと聞いたが、暗い夜道で、「ヌグヤ」（誰れか）と剣つけ鉄砲をもった武装警官に誰何された戦争中のソウルを体験した私には、全く別世界のように明るいソウルだった。

砲撃に崩れたビル、靴みがきやチューインガムを売る戦災孤児、街角に春を売る女やヤミドルの売人、露天の雑炊屋に長い列を作る失業者、そして市場や駅で客を待つチゲを背負った男たち―目をとじると走馬燈のように浮かんでくる二十四年前のソウルの悲惨な姿は、もう消え果ててどこにもない。夜十二時からは、市庁舎の電示時計も消えて、朝の四時まで〝夜間外出禁止〟が行われているが、「貯蓄は国力」のスローガンやセマウル（新村）運動の緑の旗が、朝日を受けて街のあちこちで見られる頃、ソウルの市民は男も女も胸を張って、職場へ歩いていく。希望と自信にあふれた市民の姿を、私は、毎朝ホテルの窓からすがすがしい気持で眺めていた。

◇なまけ者

「朝鮮の人は怠け者でしたねえ」―Y画伯は彼女が生まれ、教鞭をとった戦前の大邱の思い出話の中で、こんな印象を私に話した。

「フィリピンで敗戦後一年半の捕虜時代は、私も一生懸命怠けてまけながら植民地支配国の利益のために、誰が真剣に働けるものか。そんな時代を韓国人は「日帝時代（イルティシデ）」と呼んで将来とも忘れることはないだろう。

それはそれとして、いま韓国民は、世界一の働き者として評判が高い。賃金が日本の四分の一から十分の一という低さも、勤勉の一因ではあろうが、仕事さえあれば何時間でも働く彼らの気概が、果たしていまの日本人にはあるだろうか。〝仕事は少なく、収入と休日は多く〟の高度成長期性甘ったれ症が、この不況期になってからも直りそうにない日本人のほうが、韓国人よりはるかに怠け者に思えて仕方がないのである。

ソウルの経済企画庁や、蔚山、亀尾など南部の工業地帯も訪れたが、政策の立案から近代産業の第一線まで、重要なポストを占める若い四十歳台のテクノクラートの活躍ぶりが印象深かった。百万ドルの近代設備をもつ現代（ヒュンデ）造船所（蔚山）には、二万三千名の従業員（平均年齢二十六歳）がいるが、、基準内（一日八時間、週六日）の平均月収は百五十ドル。ストはもち論、労働組合もない。ドックには日本のJ社が発注した二十五万㌧タンカーのほかアラブ産油国の注文船などが見られ、韓国の新しい輸出分野で造船の躍進ぶりを示していた。

経済企画院の金博士も米国の大学で学位をとった四十そこそこの若手だが、コンピューターを連想させるほどテキパキと、数字をあげながら第四次五カ年計画を説明した。

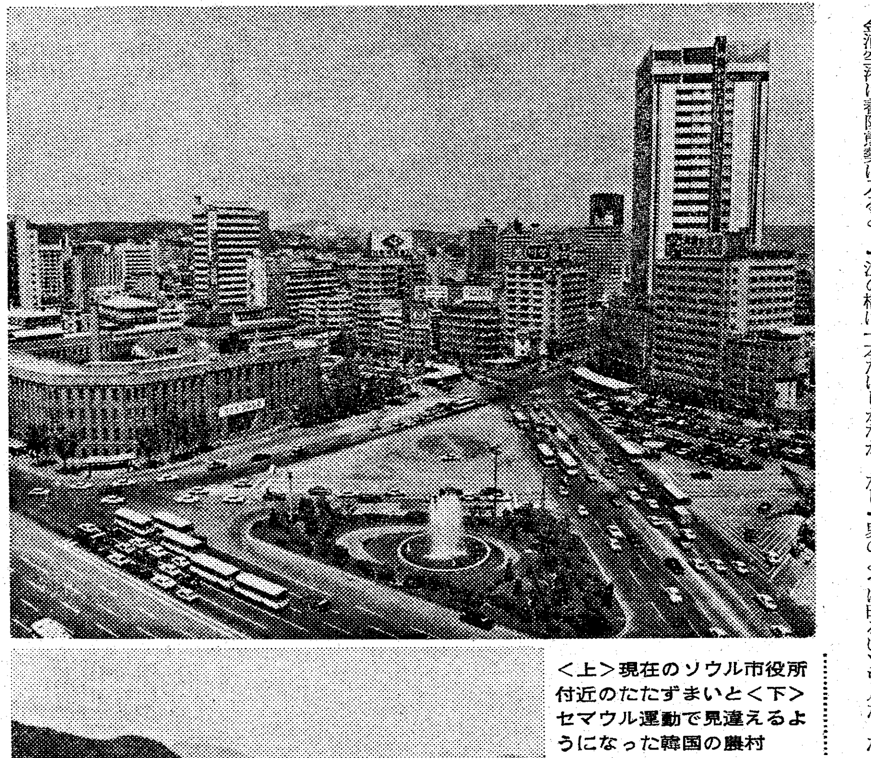
韓国のGNPに占める輸出と輸入の比率はあわせて七〇％近くにのぼるため、輸出第一政策は六〇年代の日本と同じだが、石油危機の七四年でさえ、韓国経済は八％台の実質成長率で乗り切り、昨年の輸出は八十一億ドル。対米貿易では初めての黒字を記録した。国民一人当たりGNPも七百ドル近くとなっている。今年は目標の百億ドル輸出を達成するだろうが、ことしから始まった第四次五カ年計画の最終目標は、輸出二百億ドル、国民一人当たりGNPは千五百ドルに置いている。重化学工業製品やプラントが、輸出額の中で比重を高めているほか、日米両国に片寄った貿易先を、新たにアラブ諸国での市場開発で拡大均衡をはかるなど国をあげての経済努力で、世界も驚くような〝高度成長〟を実現した。国民に自信と希望を、いや、その希望実現の四次五カ年計画達成までは、とにかく頑張って働こう、という自覚を国民が強めていることは疑うべくない。労働者や農民の勤労意欲と、労働規律のよさに、それがうかがえた。

◇ワラ屋根は消えた

釜山から板門店までの旅行中、私は農村でもワラ屋根の家を一軒も見出せなかった。米の増産もあって、農家世帯の収入は既に都市勤労世帯の収入を上回っているそうだ。自主勤労同をスローガンにしたセマウル（新しい村作り）運動の成果であろう。

（筆者は、韓国戦争殉職国連軍記者慰霊碑除幕式参列のため十八カ国六十七名の元国連記者の一人として四月二十五日から八日間訪韓。その際韓国の同窓会本部からも温かい歓迎をうけた。）

＝学校法人関西大学理事・校友会広報部元部長＝



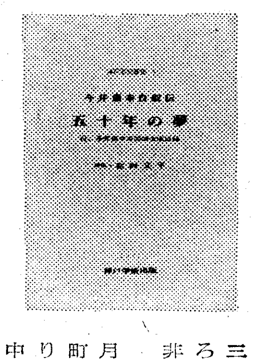
＜上＞現在のソウル市役所付近のたたずまいと＜下＞セマウル運動で見違えるようになった韓国の農村

新刊 紹介

今井嘉幸自叙伝 五十年の夢

付今井嘉幸帝国議会演説録

解説 松岡文平



大正四年五月九日福島学舎大講堂において第一回関西大学擬国会が開かれた。これは当時各大学で流行した真面目な遊び兼学習で、国会をまねて学生たちが大臣や国会議員に自らを擬し、政論を闘わすもので、将来、国会議政壇上に獅子吼せんとの理想を抱く多くの学生の血を湧かしたものである。この第一回の関大擬国会の内閣の諸大臣はいずれも本学の講師たちで、首相は岡村司（元京大教授）である。岡村以下六名の法学博士の閣僚が名をつらねた中に、外務大臣今井嘉幸がある。

今井は明治四十一年清国政府の招聘で天津の北洋法政学堂教授となり、大正二年に帰国し、三年五月に大阪の堂島で弁護士を開業し、十二月に法学博士となっている。五年春には再び中国雲南軍政府の招聘で、渡中しているから関大に出講したのは、大正三年から五年の春までのごく短期間のことであろう。

この今井の生涯はまことに波瀾に富み、小説のように面白い。その自叙伝は戦後、晩年に書きはじめたが、明治末年に中国に渡り活躍を開始したという、壮年時代、三十四歳ぐらいのところで終わっているのは非常に残念である。

今井は明治十一年五月、愛媛県周桑郡小松町で生まれた。幼少より抜群の秀才で、松山中学でもトップを切っていた。四年生の時、夏目漱石が来任した。名作「坊ちゃん」の中にしるされたバッタ騒動は今井が指揮者だったという。もっとも今井は指揮者であると肯定するところと、別の個所では否定するようなことをいってはいるが。

とにかく彼は漱石に傾倒した。その他山嵐やうらなり先生等々のモデルになった先生など「坊っちゃん」の下敷になった松山中学の情況が手にとるように描かれ、読者の興味をさそう。

卒業して旧制一高独法科に首席入学、さらに東大法科に進む。同窓に広田弘毅がいる。東京時代には同郷の先輩、黒川通軌陸軍中将の玄関番となり、その令嬢の婿の候補者にされそうなので、同邸を飛出して東大YMCAの寮に入り吉野作造と相知る。

ここで彼は志を立てる。一、司法官となる。二、柔道初段の免許をとる。三、一年志願兵として入営する。四、清国に招聘される。五、法学博士となる。六、弁護士開業。七、代議士当選。八、再び大陸に入る。九、大統領となる。十、英雄学を著述する。

この目標の第八まで全部やりとげたのだから、いかに堅忍不抜の意志と努力と頭脳の人であったかが分る。中国の大統領はちょっと誇大妄想というべきであるが…。

ここで彼の自叙伝は終わる。その後の今井の一生については松岡文平氏（昭45文二史、47修院史卒）の解説に詳しい。今井は代議士としては、普通選挙法の実現に大いに努力した。社会的には友愛会と相たずさえて普選運動をやりサンジカリズムを支持し、賀川豊彦と共にその運動を進め、神戸消費組合設立に尽力した。

また大正十年三月頃から第一次大戦後恐慌を背景として、大阪電灯、藤永田造船所等の労働組合の大ストライキが起こったが、彼は組合側の弁護士として活躍した。ついで神戸の川崎造船所、三菱造船所の大ストの調停役をつとめ、また日本農民組合にも協力した。

このように今井は阪神地方における大正デモクラシーの輝ける闘士の一人であった。

弁護士としては他に昭和十一年の第二次大本教弾圧事件で出口王仁三郎を弁護している。

昭和二十六年六月三十日、七十三歳で死去した。この闘士の一生は本書について読まれたい。

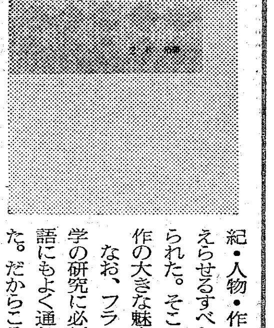
（A5版二四九㌻、神戸学術出版刊・神戸学術叢書5、小宮山書店販売定価千二百円） （孤鬼園）

三木治先生著作集

フランス中世文学の研究

故三木治先生は、本学仏文学科の創設以来、長年その中心となって学科の充実発展に尽されたばかりではなく、文学部長、大学院文学研究科長その他の要職を歴任され、大学全体の隆盛のためにも多大の貢献をされた。このような数々のご業績を偲び、その学風を後世に伝えたいという知友・門下の念願により刊行の運びとなったのが、この著作集である。

本書は二部に分かれ、第一部にはご専門のフランス中世文学関係の主要論文が、発表年代順に収められている。昭和二十五年に発表された「ジョゼフ・ベディエと「ロオランの歌」の起源から、昭和四十七年の「Rutebeuf」の「大学に関する詩」に至る八編であって、いずれも斯学に対する造詣の深さをうかがわせる、示唆に富む労作であり、論述は綿密かつ実証的である。



およそ、日本における中世外国文学の専攻者に宿命的なことは、文献資料の入手の難しさであろう。先生も「資料の所在は分かりながら容易に現物が見られないもどかしさ」を漏らしておられたが、それでも可能なかぎり各種の文献を渉猟され、それを丹念に検討された。しかし、単に個々の事実を集め、記録されただけではない。常にすぐれた見識をもって時代の流れをつかみ、過ぎ去った世紀・人物・作品をよみがえらせるすべも心得ておられた。そこに先生の著作の大きな魅力がある。

なお、フランス中世文学の研究に必須のラテン語にもよく通じておられた。だからこそ、たとえば―「エネアス物語」について特にウェルギリアスの「アエネーイス」との関係に於て―のような力作も生み出されたのである。

本書は、類書の少ないわが国において、ながく貴重な研究書としてとどまることであろう。

また、先生はなかなかの名文家で、その豊かな文才は、本書の第二部をなす随想類にも明らかである。歴史随筆「ルイ十四世の一日」をはじめ、滞仏中の印象記「枯葉舞うノートル＝ダム寺院」その他の数編は、機知あふれる、しかも含蓄のある作品で、先生の面目躍如たるものである。

（A5判二〇六頁、関西大学文学部仏文学研究室内、三木治先生著作刊行会発行、非売品）

（文学部教授・小方厚彦）

関大を彩る人々

（38）

題字は校友会長 榎本信雄

長尾三郎

関西大学非常勤講師
入野昌志 下

技術より精神力を日本の投てき界に指針

長尾は、父徳蔵と母ミヤの次男、七人兄弟である。本籍は京都で、家は、当時大阪で有名な「回春堂」という薬店である。従って随分経済的にも恵まれている。

小学校のころから長身で、いわゆる「ノッポ」だったようで、大学に入学を勧誘した有賀も、少年のころから同町内だったためノッポの長尾をよくみかけ、前記のグラウンドで声をかけたときは、「あのノッポの子供だったのか」と驚いたという。性格はどちらかといえば母親似で、温和なようだが負けん気は強く、中学時代は陸上競技部に入部せずにヤリ投げの練習を続け、有賀によって関西中等学校界の第一線に躍り出ている。

無類のスピード狂

長尾の趣味は無類のオートバイ好き。千里山の大学の近くに住んでいた、ロスアンゼルスオリンピック大会ゴールドメダリスト南部忠平さん（現京都産業大学教授）が愛用したアメリカ製のハーレーという世界一級品のオートバイを購入して乗り回わしており、関大が主催していた中等学校駅伝競走などでは審判員としてハーレーを疾駆していたようだ。当時としてはオートバイなど持つということは、よほどの趣味の人か、経済的にも恵まれた人でなければ出来ないことであり、それにも増して運動神経の「よさ」を見る恰好の材料といえよう。

ベルリンオリンピック大会に長尾と共に遠征した戸上研之氏（昭14年卒）も一度、宝塚街道を後部席に乗って猛スピードで走ったが「おそらく八十から百㌔程度のスピードで、目も開けられないほどの速さ、車から降りても足のふるえが止まらず、長尾さんのスピード狂ぶりがおそろしかった」と話していた。こんな優れた感覚があったからこそ68㍍59という大記録をものにできたのかも知れない。前記の南部さんでも、三段とびのスタート、スプリントの養成にはハーレーのスタートするときのミッションとアクセルの感覚―つまりぐんぐん出て行く感覚を思い出して、それを練習のなかに取り入れて自分のものにするという、いわゆる練習の日常生活化であろうか。

長尾の日常生活の競技化には次のようなおもしろい話もある。当時関大陸上競技部は、岡山県の西大寺というところによく合宿や対抗戦に出かけた。そこには岡山の陸上界創生期を支えてきたヤングクラブというのがあった。長尾は合宿中には、よく街に散歩にも出かけた。ところが長尾は散歩中に道端に立っている郵便ポストをみつけては、それを馬とびのように飛んで行くという。かなりの高さだが、それを易々ととんでゆくのをみた土地のヤングクラブの人たちは「ヤリ投げの選手がすごいジャンプ力だ」とびっくりしたようだ。

また長尾は負けん気の強い一面おもいやりもあったようだ。同クラブのなかにもヤリ投げ選手がいて、指導を受けた人も何人かはいるが「長尾さんは親切な人で、毎週のように手紙を貰って、こまごまと練習する方法が書いてあった。その中には、いつも、ジャンプ力を養なって足と腰を強くして足と腰でヤリを投げろ」とかならず書いてあったという。

また長尾は無口で、一見とっつきにくい人のように思われていたが、根は親切で、このようなこともあった。

惜しまれる指導力

昭和十五年の秋といえば第二次大戦の暗い影が学園にもしのびより、軍事教練やスポーツでも手榴弾投げなどがはじまったころだ。前号でも書いたが、長尾がノモンハン事変で九死に一生を得て千里山グラウンドに現われ、彼の最後の一投を試みたあと、筆者は彼の家を訪れた。これからの練習法の教えを乞うためだ。

軍隊時代の長尾選手

住吉神社の近くの自宅の応接室の廊下にはドロや手アカによごれた木製のヤリが、なんと十数本、金額にしても大変なものだ。なかにはヨーロッパでよく使う、儀式に投げる黒塗りのヤリもあった。全部フィンランド製のものばかりだ。

彼は開口一番「君はどんな目的でヤリ投げをやっているのか」といった。あまりの突然で、予期できなかったことばのため筆者は返事をしなかった。しばらくして彼が「日本記録をねらわないようならもうヤリ投げなどヤメてしまえ」といった。目がねをかけた強い視線だった。「はい、できるだけやってみます」と答えた。無口な人のぶっきら棒な、しかしその裏には後輩を励ます意味―的確な目標を与えるという優れた指導力のある一面だ。

「よし、そんなら教えてやろう。まず第一に大阪で一番になれ、次に関西でそして全日本でと順次に目標を大きくして一つ一つ達成して行け、それには日ごろの苦しい訓練に耐える気力、おれがノモンハン事変で味わった命がけの苦しさに耐えることが必要だ」と技術のことより精神力の大切さを説いた。

また長尾は、彼がロスアンゼルスオリンピック大会で58㍍しか投げられず予選で失格した、そのときの感想を関西大学学報一〇三号（昭七・一〇・一五）で「ヤリ投げに強くなろうとすれば、ただヤリ投げの練習のみではいけない。全ての投てき技に強くならなければならない。それ故に百㍍は11秒台で走るスプリント、高とびは1㍍70～80㌢を越えるバネが必要だ」と書いている。体力ではとうてい外国に追いつけない日本の投てき界に、この当時すでに大きな指針を与えている。

長尾は偉大な選手であると共に優秀な指導者でもあったといえよう。戦争という悪夢が陸上競技界でも惜しい人を失なわしめた。長尾がもし生きていたら昭和三十九年の東京オリンピック、その後のメキシコ、ミュンヘン、モントリオールなどのオリンピック大会によい選手を送り出していたに違いない。

彼の消息を知る人は少なかったが、関大陸上競技部創立五十周年記念誌（昭46・2・10）によると関大同級で、中距離で活躍した小西秀夫氏が、ノモンハン事変後の昭和十六年八月の再応召で、長尾と朝鮮第七八連隊で一緒になり小西氏が上官になって後一年半ばかり、兵営の消灯ラッパが鳴り響くと、あとは同級となって肩書を取り除いて、陸上界の話しにふけったという。その後長尾はニューギニア方面に長征し、昭和十八年十二月十三日南溟の果てに散った。墓は京都東山の金地院にある。法名「英寛院道威真猛居士」。

なお、長男の出口成美（しげはる）氏は、金沢市天神町一丁目六ノ一四・TEL〇七六二（二一）一〇六二番＝に住んでおられる。

私事わたるが八月下旬から、ヨーロッパカップ（フィンランド）ユニバーシアード（ブルガリア）英独対抗（イギリス）ワールドカップ（西独）と、欧州陸上界の四大陸上競技大会を見て回った。やり投げではすでに男子の94㍍、女子の69㍍が世界記録となっているが、投げのフォームも、長尾選手がつくり上げた（ソリ投げ）はすっかり影をひそめ、円運動の高度な利用に変わってきている。それだけに、四十四年前に長尾選手がつくり上げた記録と華麗なソリ投げのフォームは、我が国陸上競技史にのこる「名選手」の思いを新たにした。

最後になったが、貴重な資料を提供下さり、又いろいろご教示に預かった出口茂美氏と有賀司郎、戸上研之、小西秀夫の各氏に感謝の意を表する。

異動

▽足立正則（昭46学一社）東淀川区北江口町三〇〇マンション北一〇三号【ダイエー本社】
▽相宮清一（昭48学工化）西宮市里中町一丁目三―一【安尾建設工業㈱】南区末吉橋通四―一〇
▽浅尾悦照（昭28学二商）和泉市富秋町一六七―五【社会保険労務士】
▽浅田文男（昭28学二法）住吉区苅田町九―五一府住六―二五一【那賀電報電話局長】和歌山県那賀郡那賀町名手市場
▽浅野一臣（昭51学工電）名古屋市北区上飯田町南町五一―一二、百寿荘一―一号【ストラバック シモジマ㈱】名古屋市北区古渡町一一
▽井上哲夫（昭34学二経）和泉市緑ケ丘三五一―六【㈱大宮業務部】大正区三軒家東三―九―一四
▽伊藤富宏（昭51学二経）堺市東浅香山町三―八〇府住一―八【堺市立原山台中学校】
▽池田昌之（昭50学工化）西宮市神呪町四―二六【三興製紙㈱大阪事務所】
▽石幸利康【石幸末太郎】（昭13専二法）【浅沼建物㈱常務取締役】天王寺区東高津八
▽石原康正（昭51学一商）神戸市生田区元町通四―七八【浜屋㈱】神戸市生田区元町通四―七八
▽石丸武雄（昭16大予一・18大法）北九州市小倉北区足原一―七―三九五【西日本工業大学】福岡県京都郡苅田町大字新津一六三三
▽上岡 剛（昭51学二商）岡山市国府市場二四三山陽日産モーター東和寮【山陽日産モーター㈱】岡山市高屋一六一
▽小川隼一（昭43学一商）西宮市浜松原町二―五七西宮酒造社宅二〇七号【西宮酒造㈱】
▽尾形貞延（臨16専二法）枚方市山之上五―四八―四【関西ビル管理】東区釣鐘町二―三六 ニュー大阪ビル三階
▽大植正博（昭49学一経）広島市戸坂新町二―二四、二〇―三一〇東浄団地【日本総合事務機㈱】広島市己斐本町三―一三―一七
▽大谷盛広（昭11大法）【十合商事㈱監査役】北区芝田町一〇六―二長岡ビル三階
▽岡田 孝（昭48学一史）兵庫県多可郡加美町的場【加美町役場】
▽岡本治敏（昭46学機Ⅱ）倉敷市児島通生二二九六【岡山日産自動車㈱】
▽岡本理一（昭七専商）北海道北見市北斗町二―二七七【北見大学商学部長】北見市北光二三五
▽加藤和穂（昭48学二法・50学一政）【幸陽船渠㈱大阪事務所】北区曽根崎上四―一〇大阪駅前第二ビル一〇一八
▽梶岡秀年（昭45学一法）堺市東雲西町二―五―三二【国会事務所】東京都千代田区永田町二―二―一衆議院第一議員会館七三二
▽金川敏昭（昭39学一商）東京都練馬区南田中一―三―二【西武化学工業㈱】
▽神城満男（昭50学工金）北九州市小倉北区清水一―一〇―一八【福岡県立福岡工業高校教諭】福岡市西区荒江二―九―一
▽木村 武（昭18二商）兵庫県川西市萩原三―一―九【日本空輸㈱大阪支店長】
▽北見康自（昭39高一・43学工機）豊中市若竹町一―一五―一四【豊中市役所下水道部管理課】
▽北村慎一（昭46学電子）東京都調布市小島町六六六―二京王多摩川コーポラス二四六【富士通㈱川崎工場無線方式部第五方式課】
▽清川正義（昭31学一経）八尾市山城町五―一―二七【堀江家具製作所販売促進部長】
▽小嶋 修（昭32学一経）千葉市桜木町三三八富士印刷工芸㈱内【富士印刷工芸㈱常務取締役】
▽後藤光男（昭42学一商）静岡市新間四八―一あおい五〇六【岩谷産業㈱静岡営業所】静岡市紺屋町三―一〇中島屋ビル四階
▽斉藤紀一（昭30学一商）旭区大宮二―二―一六【㈱大阪三洋】東大阪市長田中二―一二三―一四
▽下野英三郎（昭14大商）枚方市田口一八七七―一八、二二―三〇八【報徳幼稚園長】枚方市招提南町三―一〇―一〇
▽神保雅明（昭35学一法）東京都練馬区石神井台二―三五―四九日本生命石神井荘二二号【日本生命保険相互会社船橋支社】千葉県船橋市湊町二―一―一
▽島田賢治（昭9関甲）東京都八王子市散田東町一三七六―二五【日本鉱業協会】
▽田中三郎（昭31学一法）北海道旭川市六条西一【野村証券㈱旭川支店長】
▽高木昌信（昭43学一商）伊丹市昆陽字貳夕塚一―一【朝日生命保険相互会社大阪中央支社】東区高麗橋五丁目五〇
▽高柴昌弘（昭38学二商）高槻市別所中の町一五―三―三三【日本生命相互会社京都南支社】京都市下京区烏丸通七条下ル日生京都駅前ビル
▽高田博道（昭43学一商）千葉市幸町一―一二―五千葉銀行幸町社宅一〇一号【千葉銀行外国部】東京都中央区日本橋室町一―一八
▽辰元明夫（昭36学二法・37学一政）徳島市中昭和町四―七七―二【第百生命㈱】
▽谷本生海（昭25高一・27短大一・29学一法）天王寺区烏ケ辻町一―一〇―三〇二【大阪市立情報処理教育センター】
▽樽井 勇（昭39学一新）【新日本産業㈱千葉新日本ゴルフ】
▽辻子和宏（昭31学一法）奈良市西登美ケ丘町一―一八【野村証券京橋支店】都島区東野田町五丁目二―一二五
▽土岐 泉（昭49学二英）生野区小路東二―二五―八【大阪府三島府税事務所】
▽中林 孝（昭48学一経）堺市土塔町二二四八【㈱シャーリング工場】
▽西用 紳（昭47学二商）【㈱重松本店豊中支店営業部】豊中市走井三―一―五
▽西村正人（昭51学機Ⅱ）此花区西九条一―五一―一八【アルナ工機㈱】尼崎市東灘波町一―四―五
▽延時修三（昭50学工建）広島県深安郡神辺町上竹田二三六【神辺町教育委員会】広島県深安郡神辺町大字字川北八九五―一
▽林 英一【吉井】（昭48学一教）京都府向日市寺戸町岸の下七―八【茨木市立沢池小学校教諭】茨木市南春日丘三―一一―六
▽原 一馬（昭28学一法）高松市西宝町二―一〇―三鉄砲場住宅一―三四【高松保護観察所】
▽東浦 寛（昭45学一国）兵庫県多紀郡篠山町畑宮四二六畑小学校前【県立篠山鳳鳴高等学校】兵庫県多紀郡篠山町大熊藤田ケ谷の坪
▽福岡 貢（昭47学一経）横浜市南区別所四―二―二五中央信託銀行上大岡寮【中央信託銀行審査部】東京都中央区京橋一―三―三
▽福田 浩（昭45学一法・49院修私）東京都目黒区平町二―二三―一三平町ハウス二二号【ILS渋谷支社BBCシステムセンター営業部】東京都渋谷区宇田川三三―一七
▽福本昌三（昭28学一経）【福栄工業㈱代表取締役】都島区片町二―八―一三ウエダビル
▽松浦清朗（昭51学工化）京都府綴喜郡八幡町橋本小字狩の尾一―二七【日邦産業㈱】吹田市泉町二―四五―一三
▽松橋貞一（昭27学一商）堺市北三国ヶ丘町七丁目三―一九【松原商工会議所事務局長】松原市阿保一―二―三〇
▽松本和彦（昭51学一社）阿倍野区昭和町二―二―一七【堺市立浅香山小学校】
▽松本宏昭（昭50学一経）東京都武蔵野市境南町一―九―七食糧庁寮【食糧庁経理部主計課】東京都千代田区霞ヶ関一―二―一
▽森山 満（昭36学一法）東京都調布市国領町八―一三―五〇【安田生命保険相互会社企業保険営業第一課】
▽薮 嘉積（昭24学一法）羽曳野市伊賀三―四―八【大阪スバル自動車㈱本社総務部長】東住吉区今川町四三三五

移転

▽矢幡 豊（昭20専一経）奈良県生駒郡斑鳩町神南二六一―七六
▽山尾恵三（昭44学応化）堺市庭代台四―四二―一〇
▽山口貞善（昭44学二史）西淀川区歌島三―八―二―三〇一
▽山田 勝（昭50学一商）清水市真砂町二―二九
▽山村隆司（昭49学工管）奈良市五条町四八―一三〇
▽山本貞範（昭7専英）呉市汐見町一六八
▽山本妙子（昭50学一経）明石市貴崎四―二―一二
▽山本隆一（昭29学一法）枚方市牧野阪三―一三―一四
▽山本秀憲（昭49学一商）堺市三原台二―二、二―二―九〇四
▽山本佳彦（昭50学一社）名古屋市北区上飯田南町五―一〇二みど

大橋 三郎氏（関大出版・広報課長大橋勲氏厳父）は、九月七日脳出血で逝去された。葬儀は同八日十一時～十二時、吹田市小路八二、大鏡寺で、喪主大橋勲氏、住所は、大阪市都島区都島本通三ノ二五、七―五一七

喫茶 ベガ
地下鉄東梅田・日興ビルB1 ☎313―6774

料亭 大市
鈴虫の啼く音につられ大市へ 陽巡
お気軽にどうぞ…
阪急十三駅西北百米
電話（三〇二）一四七三
（三〇八）〇三五〇

メディアの火が使われた大浴場。
15世紀ごろのコンスタンチノープル（いまのイスタンブール）では、皇帝は人民の願いによって2つの大共同浴場をつくったとか…。空気と水をガラス製や陶器のランプで暖め、浴場の暖房と温水供給を行ったそうです。そしてこの燃料に使われたのが「メディアの火」と呼ばれた石油だったのです。
ずいぶん昔から、人々のお役に立っている石油。いまでは、エネルギー源としてはもちろん、私たちの生活をになっています。丸善石油は、これからも石油の安定供給のため、あらゆる努力をつづけます。
暮らしに生きる石油
丸善石油

友信倉庫株式会社
倉庫事業部
重量事業部
空調設備サービス事業部
代表取締役 山野謹五郎
大阪市都島区都島本通1丁目13番10号
電話 大阪 928―3551（代）

オイラックスS 20g
しっしん・かぶれ・かゆみに
Geigy

しっしん・かぶれ かゆみに
フジサワ
オイラックス®S
〈包装〉10g・20g・30g チューブ入り
この医薬品は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください

コンピュータ時代をリードする―
印刷の東洋紙業
●営業品目
オフセット・活版・グラビヤ各種印刷
オフセット輪転印刷・電算機用品印刷
紙器・紙袋他各種包装資材の
企画・製造・販売・出版
最高の印刷技術と総合企画
東洋紙業株式会社
取締役社長 朝日多光
大阪（芦原・平野・美原・東大阪）・東京（南品川・横浜）・広島出張所・札幌
本社（06）562―0051・東京支社（03）474―3251・広島（0822）46―7972